

ふなばし美術学院



2018入学案内

Funabi School Guide

OIL PAINTING JAPANESE PAINTING DESIGN & CRAFT WEEKEND CLASS
MEDIA ARTS & IMAGE ARCHITECTURE BASIC SECTION BASIC JUNIOR LECTURE

Funabi School Guide 2018 CONTENTS

いろいろ選べる美術系の進路	02
合格に向けて	03
ふな美のコース案内	04
年間スケジュール	06
指導方針と強化システム	07
油絵科 [昼間部] OIL PAINTING	08
油絵科 [夜間部] OIL PAINTING	12
油絵科 [昼間部] JAPANESE PAINTING	14
日本画科 [夜間部] JAPANESE PAINTING	18
デザイン・工芸科 [昼間部] DESIGN & CRAFT	20
デザイン・工芸科 [夜間部] DESIGN & CRAFT	30
土日受験部 WEEKEND CLASS	32
絵画科 [土日受験部] PAINTING	34
デザイン科 [土日受験部] DESIGN	35
先端芸術・映像科 [土日受験部] MEDIA ARTS & IMAGE	36
建築科 [土日受験部] ARCHITECTURE	38
基礎科 [高校生] BASIC SECTION	40
基礎科 [中学生] BASIC JUNIOR SECTION	46
学科 LECTURE	48
通信教育課程 POSTAL COURSE	50
無料体験・公開イベント	52
合格実績・付属設備	54
生徒支援・保護者教職員の皆様へ	56
環境・沿革・指導スタッフ	58



沿革・学生サポート制度

■基礎科受験クラス

東京芸術大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学等へ現役合格を目指す一歩進んだ対策をとるクラスを設置致しました。一定の実技経験がある高校2年生の希望者は、週5日油絵科・日本画科・デザイン・工芸科の夜間部受験生と一緒に実技を行います。年の途中から各科講習会への参加を経てステップアップすることも出来ますので、実技レベルのアップした2年生の皆さん是非このクラスを活用して下さい。

■遠隔地特待生制度

千葉県・東京都を除く他県在住の皆さんが本学への入学を希望される場合、学費の一部を減免する制度です。また、東京都内・千葉県内でも通学に長時間を要する本課程入学希望者には、通学定期券購入に加え、交通費の一部を学費から減免いたします。

■宿泊費用補助制度

ふだん本学には通えない通信教育課程の学生や、地方・遠隔地の皆さんが本学各期講習会等に参加する場合、学生会館をはじめ本学所定の施設を利用するにあたって宿泊費用の一部を講習会学費から減免する制度を設けました。



明日への美術に向けて。

どんな素晴らしい芸術家やデザイナーにも、そのスタートの時点においては、自然や事物をよく観察して描いたり、

イメージしたり、感覚的論理を応用したりするなどの制作体験の継続と地道な研究、模索がありました。

今、その初めに位置する諸君も同様に、新鮮で豊かで自由な感動や、無心にものをとらえて描くこと・造ることの行為等を積み重ね、

造形思考や、意識、技術を深めるとともに、何よりも情熱の持続なくしては自己の感性や表現力を豊かに開花させることはできないでしょう。

美術やデザインを学ぶことが、美しさや生命を愛し、人々に限りない夢や希望を与えるとともに、

自己の生きがいや共に生きる喜びを創造する可能性を大きく秘めている限り、これからも益々自由な魅力あふれる展開を見せてくれることでしょう。

現在の個性化、多様化する美術状況は「伝統的なものに根ざす創造」と、従来とは発想や技術・素材等の異なる「新しい分野での創造」を志向する流れが、相互に影響しつつ現代の美術に向かっているように思われます。

芸大入試もますます多様化してきましたが、それを超えていくには、

高い目標を持ち、しっかりと基礎力と豊かな感性や知性に支えられた「確かな表現力・創造力」が必要です。

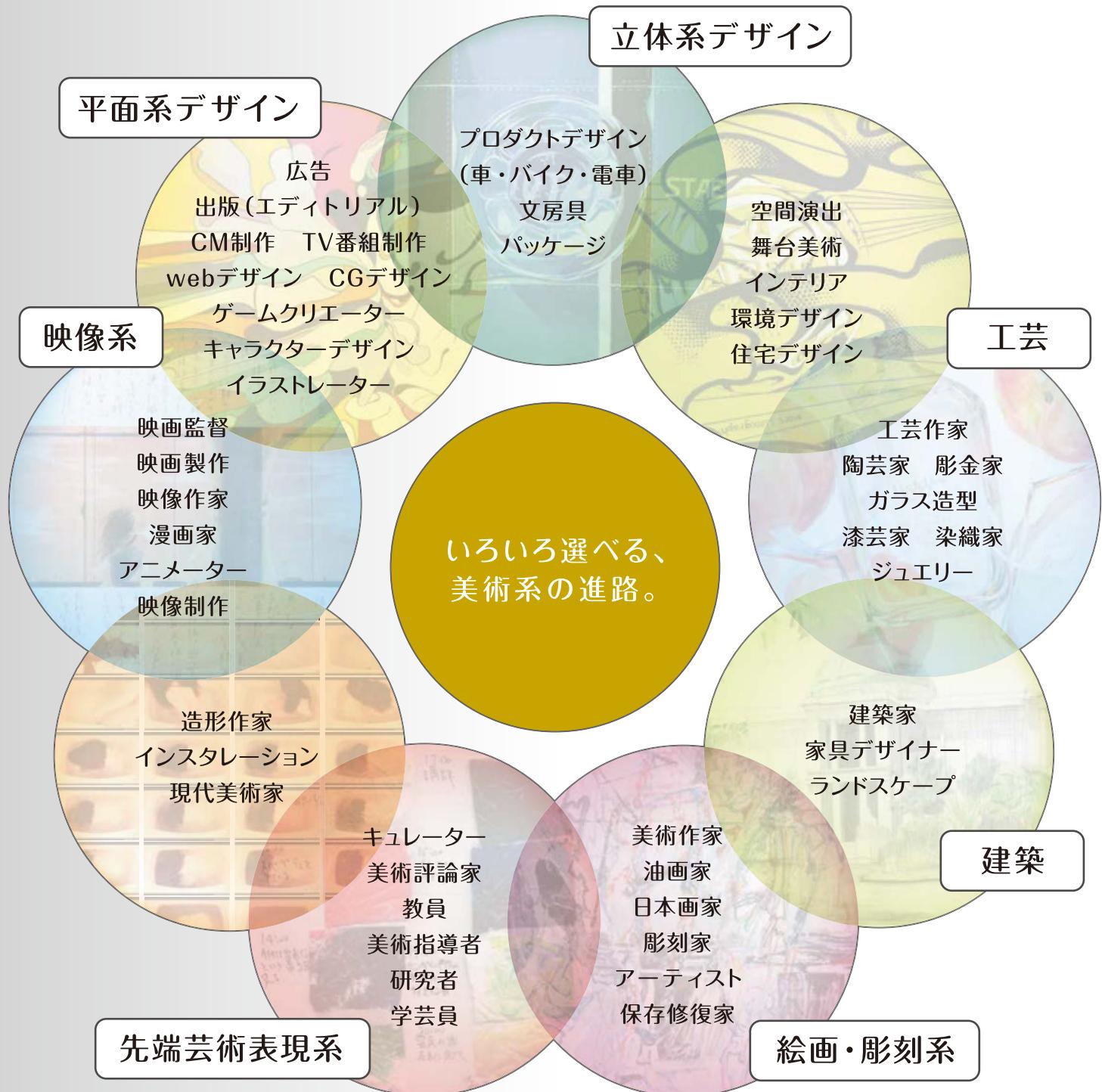
明日への美術に向けて、皆さんの若さ溢れるエネルギーに期待します。

ふなばし美術学院 創立者

鈴木 善雄

いろいろ選べる美術系の進路

描いて創って未来へ！なぜ美術系への進学を目指すのか？



図は代表的な美術系の仕事や職業を、領域ごとに分類したものです。

日頃みなさんが目にする物のほとんどに美術やデザインを学んだ人達の力が活かされています。

また、大きく「美術系」と捉えた進路の中にも様々な専攻領域があり、それぞれの分野が社会での役割に結びついています。

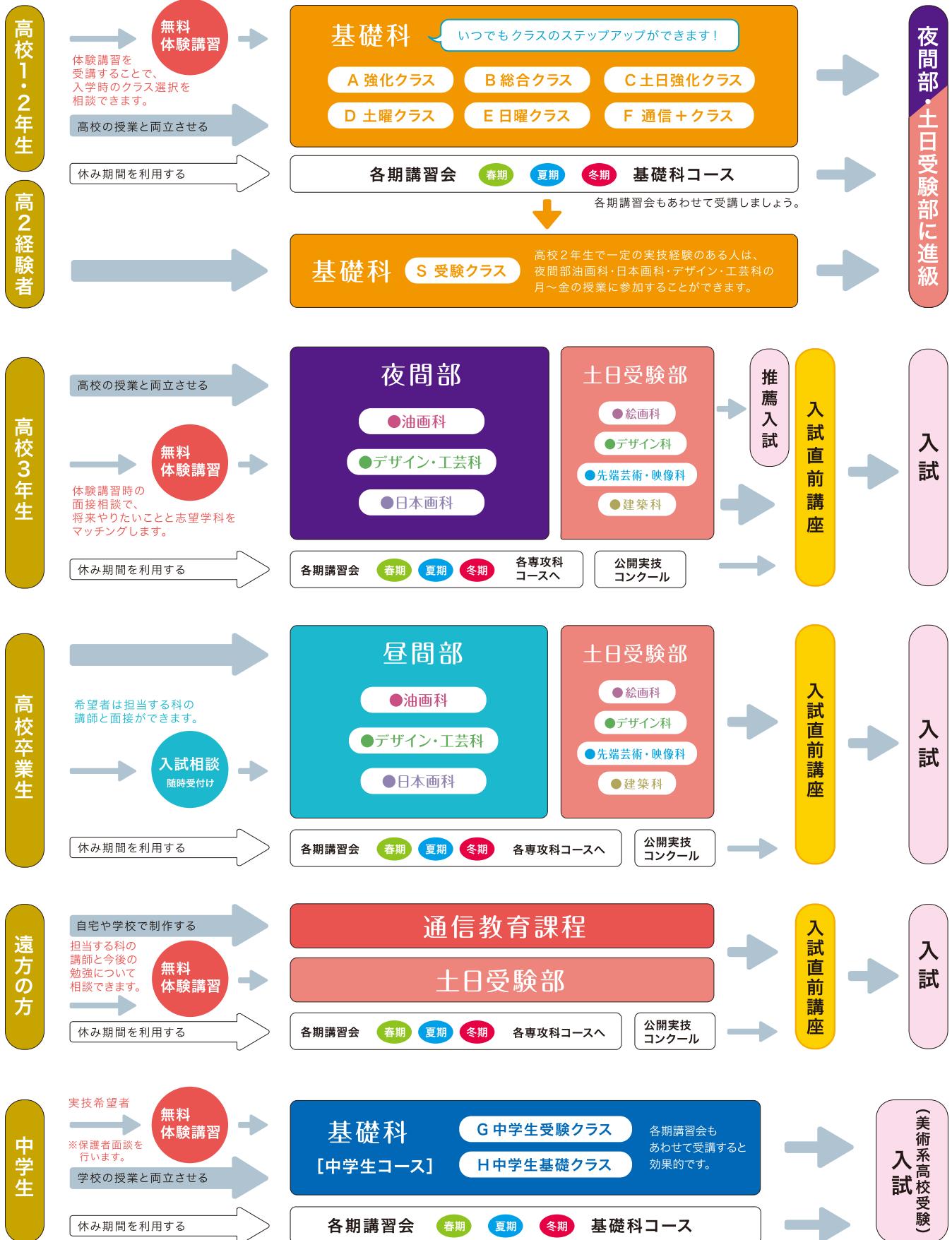
まずは自分の周りを見渡し、好きな物や興味を持った事について調べてみましょう。そして、どんな人がそれを創ったのか、

どんな勉強をしてその職業に就いたのかなど、「好奇心」をエネルギーにして目標を持つところがスタートです。

技術や感性を磨きながら夢を追いかける旅に出ましょう！

合格に向けて

美術系大学・高校の実技試験に対応した、適切な科やコースを選びましょう！



ふな美のコース案内

個々のニーズにしっかり対応、バランス重視のカリキュラム！

昼間部 DAY CLASS

高校卒業生対象

実技授業 月～金(9:00～16:00)

+ 夜間実技強化講座 月～金(17:15～20:15)

+ 選択実技 / 選択学科 土(14:00～20:15)

● 昼間部油絵科

● 昼間部日本画科

● 昼間部デザイン・工芸科

週5日カリキュラム+選択実技/選択学科に加えて、夜間実技強化講座も授業料に含まれています。
東京芸術大学及び多摩美術・武蔵野美術等の私立美大に対応し、通学定期も利用可能な本課程です。
例えば1学期は学科重視で力をつけ、2学期は実技に集中するといった受講も出来ます。
とにかく実技力をアップしたい人は、夜間強化講座も合わせて参加して下さい。

月	火	水	木	金	土
9:00					
16:00					
17:15					
20:15					

昼間部実技授業

夜間実技強化講座

選択実技 選択学科

S1 14:00～15:20
S2 15:30～16:50
S3 17:20～18:40
S4 18:50～20:15

夜間部 NIGHT CLASS

高校3年生・高校卒業生対象

実技授業 月～金(17:15～20:15) + 選択実技 / 選択学科 土(14:00～20:15)

● 基礎科 ■ S受験クラス

高校2年生の実技経験者

実技授業 月～金(17:15～20:15)

● 夜間部油絵科

● 夜間部日本画科

● 夜間部デザイン・工芸科

夜間部学科授業が充実！実技選択の場合も計7単位で、現役合格を目指すカリキュラム！

東京芸術大学及び多摩美術・武蔵野美術等私立美大に対応し、通学定期も利用可能な本課程です。
選択実技は昼間部と合同で行うので入試のレベルを体感し、一歩進んだ実力をつけることが出来ます。
昼間部同様、実力に合わせて1学期と2学期で選択実技と選択学科をスイッチ可能です。

月	火	水	木	金	土
9:00					
16:00					
17:15					
20:15					

高校の授業時間

夜間部実技授業

選択実技 選択学科

S1 14:00～15:20
S2 15:30～16:50
S3 17:20～18:40
S4 18:50～20:10

● 基礎科 ■ S受験クラス

夜間部受験各科で月～金に実技実習を行います。(1、2学期)

○ 昼間部・夜間部(基礎科以外)とも1学期・2学期の土曜選択実技/選択学科を含んだ設定となっております。

○ 土曜選択制授業は2学期で終了し、3学期は入試直前対策で上記時間割と異なります。(月～土 週6日 昼間部・夜間部制)

○ 選択実技・選択学科は事前登録制ですが、実技力や学力の状況に応じて担当講師と相談し、途中で変更することが出来ます。

○ 土曜選択学科は学院で行うテスト結果によってクラス分けを行います。

○ 夜間部の夜間実技強化講座は任意での参加となり、追加学費は必要ありません。また、指導上担当講師より参加をお勧めすることができます。

○ 基礎科S受験クラスの3学期は、週6日夜間受験各科で実習か、週4日基礎科Aクラスでの実習が選択制となります。いずれも学費の変更はありません。

志望校の違いから実技と学科の弱点補強まで、選択制を持たせたカリキュラミングとなっています。選択変更やステップアップにも柔軟に対応していますので、一人一人がしっかりと力をつけることが出来るようバックアップしていきます。選択実技は昼夜間部でコンクールを行うなど、現役生が一步進んだ実技力をつけられるように、また選択学科もレベル別にフォローできるよう受講期間を調整してバランスよく学習できます！

土日受験部 WEEKEND CLASS

高校生・高校卒業生対象

実技授業 土(14:00~20:30)/日(9:30~16:30)

※実技両日(週2日)または選択実技(週1日)

● 絵画科

学科重視で週末は実技対策！という志望校から、部活両立、経済的理由のある人まで対応します！

● デザイン科

国公立受験系 → センター5教科対策は自己学習、週末に実技対策を行い、筑波・千葉・学芸大等国公立合格をめざす！

絵画系 → デッサンを中心に実力をつけて共通実技を行う志望校対策や、夏期講習から専攻各科への転部もできます。

● 先端芸術・映像科

デザイン系 → 秋の推薦対策も射程に入れて、各種デッサンに加えて構成課題も効率よく実習します。

● 建築科

先端芸術・映像科 → 東京芸大先端芸術表現科対応の個別制作からポートフォリオ作成、私大映像系対策まで幅広く対応可。

建築科 → 東京芸大建築科から千葉大・早稲田大の理系受験まで、学科自己学習とのバランスを考えた設定です。

月	火	水	木	金	土	日
高校の授業時間・自己学習等					14:00 実技授業	16:30 実技授業
自己学習等					20:30 実技授業	

※実際の試験時間に合わせ、3学期土曜の授業時間を午前開始とさせて頂きますのでご了承ください。

基礎科

BASIC SECTION

高校
1・2年生対象

夜間ABクラス 実技授業 火～土 各日(17:30～20:30)
土日CDEクラス 実技授業 土(14:00～20:30)日(9:30～16:30)
+ 選択学科 [月曜もしくは金曜・選択制](17:30～20:30)

中学生対象

日曜 G受験クラス(9:30～15:00) H基礎クラス(9:30～12:30)

● 基礎科

週一日から「始めやすくて、通いやすい」高校生活と両立可能なクラス設定。新たに学科をセットにしたクラスも選べるようになりました。

基礎科 - クラス別日程表 -						
S受験クラス	実技のみ(月・火・水・木・金) [17:15～20:15]	月	火	水	木	金
A強化クラス	(火・水・木・金) [17:30～20:30]	●	●	●	●	○
B総合クラス	(火・木・土) [17:30～20:30]	●			●	●
C土日強化クラス	(土) [14:00～20:30] (日) [9:30～16:30]					● ●
D土曜クラス	(土) [14:00～20:30]					● ●
E日曜クラス	(日) [9:30～16:30]					●
F通信+クラス	月に1～2課題の通信教育、+来られる日に講評・実技					基礎選択学科(月・金) [17:30～20:30]

※S受験クラスについては、左ページ夜間部を参照してください。

● 基礎科中学生コース

G:中学生受験クラス(日曜 週1日)

[9:30～15:00] 5時間授業

H:中学生基礎クラス(日曜 週1日)

[9:30～12:30] 3時間授業

月	火	水	木	金	土	日
中学校の授業時間						
5 G:5時間 9:30～15:00						

年間スケジュール 2018

充実した一年で『夢』を実現しよう！

3 Mar	春期 講習会	●第一回特待生試験 ●一日体験講習(無料)
4 Apr		○入学式 ■学科基礎力診断テスト ■個別面談 ●一日体験講習(無料)
5 May	1 学期	●美術研修旅行(昼間部) ●土曜体験講習(無料)
6 Jun		■第一回学科実力テスト ●一日体験講習(無料)
7 Jul		●一日体験講習(無料)
8 Aug	夏期 講習会	●芸大美大入試 公開オリエンテーション ●第二回特待生試験 ●一日体験講習(無料)
9 Sep		■第二回学科実力テスト ●土曜体験講習(無料)
10 Oct	2 学期	●推薦入試直前講座 ■私大学科模試 ●一日体験講習(無料)
11 Nov		■センター模試 ■個別面談 ●東京芸術大学 公開実技コンクール ●美術系進学相談会(無料) ●一日体験講習(無料)
12 Dec	冬期 講習会	●一日体験講習(無料)
1 Jan	3 学期 入試直前講座 私大入試 芸大入試	■センターpreテスト ●一日体験講習(無料)
2 Feb		○卒業式 ●一日体験講習(無料) ●美大入試説明会(無料)
3 Mar		

ふな美の年間スケジュールは4月に始まり翌年3月で終了します。要所要所に公開行事と学内行事が催されることで皆さんの多様な能力を育んでいきます。

● 春期講習会 3月下旬～4月初旬

これから実技の勉強を始めようとする人や、来春の受験に向けスタートをしようとする人を対象にした講習会です。初心者には用具の使い方から、経験者にはこれから1年間の確かな第一歩を踏み出せるようきめ細かい指導をしていきます。



● 美術研修旅行 5月

アトリエ内だけが制作の場ではありません。自然に触れて対話し、もう一度見直し制作することは非常に大切です。私たちは自然から最も多くのことを教えられているからです。



● 夏期講習会 7月中旬～8月下旬

ふな美の夏期講習会は、全期で6週間にわたり、昼間・夜間の様々なコースを各自の志望や強化したい分野に合わせて選択・組み合わせることができます。各大学の入試内容に即した課題を取り組むことで実践的な力を養います。



● 東京芸大公開実技コンクール 11月

東京芸術大学受験志望者を対象に、各科実技試験の最も重要な課題を想定して行います。学外生の参加も可能です。



● 冬期講習会 12月中旬～1月初旬 ※12/30～1/3は休講

入試を目前にひかえ、熱気あるムードの中でさらなる自己の能力のステップアップを図ります。また、高校1・2年生を対象とした基礎コースでは、来年、再来年の入試を視野に入れながら基礎力養成を目指します。



● 入試直前講座 1月初旬～3月中旬

遠隔地や高校の都合で通学できなかった人を対象に、入試日程にあわせた週単位の講座が設定されています。さらなる実技力向上を目指しましょう！



指導方針と強化システム

一人ひとりの個性を磨き、一人ひとりの夢を実現する！



[クラス別指導 + 個別指導]

10人いれば10の個性や感性があります。

ふなばし美術学院では「基礎力」に重点を置きながらも、個有の感性や知識を伸びやかに育てることを最大の目標にしています。平常授業では基礎力や応用力の養成を主な目的とした「クラス別指導」と個々の力を引き出すことを主眼とした「個別指導」を両輪として授業展開します。特に「個別指導」では、経験豊富な講師陣と面接などを通じてコミュニケーションを深め、志望校を視野に入れ、“表現する力”を育成していきます。こうしたきめ細やかな指導がふな美の合格実績を支えています。

もっと描きたい！学びたい！に応える

ふな美は確かな実力をつけるところです。

実技力をより伸ばしたい人には、通常授業に加え土曜日の選択実技や夜間実技強化講座(昼間部生対象)が用意されています。また、学力を伸ばしたい人には土曜日のレベル別集中学科講座が設けられていて、年6回に及ぶ学科テストでチェックしながら選択講座の実技と学科をスイッチすることができます。さらに視野を広げるための課外講座や合同コンクール等に参加することで、総合的な実力を強化することができます。

SYSTEM 1 夜間実技強化講座 自由参加&無料。

- 夜間実技強化講座は年間を通して昼間部平常授業終了後、夜の3時間を実技授業にあて、ワンランク上を目指す、ふな美独自の学習システムです。単に与えられた課題に取り組むだけでなく、受験生が自主的に参加するこの講座が、各自の主体性を育て、高い合格率を生む大きな要因になっています。
- 夜間実技強化講座にも担当講師の指導がります。
- 時には講師の指名で参加を促す場合もあります。

SYSTEM 2 土曜選択講座 毎週土曜は実技or学科から選択授業。
昼間部・夜間部受験生の年間学費に含まれています。

- 昼間部・夜間部の枠を超えて、個々の志望状況やウィークポイントの克服に対応できるよう、毎週土曜日を実技／学科から選択できるようになっています。
- 学科授業をレベル別に行うことで、わからないところから克服し、芸大美大合格をめざすことが可能になります。
- 年6回の学科テスト結果で確認しながら、選択実技と選択学科をスイッチ受講することが出来ます。
- 選択実技はレベルの高い昼間部と合同で行うことで、現役生夜間部の実技レベルを向上させる機会となります。

SYSTEM 3 課外講座 視野が広がる学院外での授業。

- 受験対策に不可欠な「傾向と対策」ですが、それだけでは美術の世界に進む人間としての視野を狭め、結果として良い人材育成には結び付きません。
- 年数回の企画で、部科の枠を超えたコンクールや美術館・博物館、東京芸大見学ツアーなど様々なプログラムで視野を広げ、モチベーションをアップしていきます。

油 画 科 [昼間部] OIL PAINTING

描けるだけ描く!

東京藝術大学をはじめ、多くの美術大学で出題される「～を自由に描きなさい」という言葉に対し、積極的に「絵」で応えていく人間を養成します。

経験豊富な講師陣との対話の中で、自分自身の表現を見つけて行くことが成長に繋がります。

また、静物、人物、構成等の状況設定をアクティブに組み合わせたカリキュラムで、限られた時間を密度の高いものにしていきます。

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:00~16:00]	●	●	●	●	●	
夜間強化講座 [17:15~20:15]	○	○	○	○	○	
選択実技 [14:00~20:15]					●	
選択学科 [14:00~20:10]						●



● 昼間部油画科のカリキュラム

経験の少ない人は対象をしっかりと描く基礎力の拡充から、受験経験者は前年度までの分析からがスタートです。同じ対象を描いても、個々に取り組むテーマは異なります。1枚1枚の絵に自分なりの到達感が持てることが大切です。試験対策課題だけでなく、より広い絵画表現を視野に入れた多彩なカリキュラムを行います。その環境を活かして、合格より一步先にあるものを見据え、獲得していきましょう。

1・2学期は、土曜日が実技か学科の選択制となっています。学力に心配のある人は、なるべく1学期の学科から取り組みましょう。途中から実技に変更することもできます。



● 特別な授業と行事

■ 美術研修旅行 ---「自然や人から多くを学ぶ」

美術研修旅行は5月中旬に2泊3日で行います。絵を描き続けるためには、画集や展覧会を見るなど、多くのインプット作業が重要ですが、自然から多くのものを得ることもその方法の一つです。また、日常とは異なる時間の中で講師や友人と意見を述べ合い、親睦を深めることができます。

■ 屋外実習（風景・取材）

東京藝術大学の二次試験では、度々「大学構内の取材」を元に絵画を描くという課題が出題されています。屋外の無限にあるモチーフから自分が表現したいものを探し出す行為です。日頃アトリエ内でモチーフに集中する視線を解放し、切り取ったものを作品内に再構築する総合力を養います。

■ 実材実習講座 —「多彩な技法を学ぶ」

主にコラグラフやペーパードライポイントなど、版画を中心とした実習を行います。デッサンや油彩といった試験課題とは一味違う作品を作ることで絵画表現についてより深く学びます。

■ 夜間強化講座 —「たくさん描いて上達する。」

昼間部授業終了後も描きたい人が描ける「ふなび」ならではのシステムです。昼間の課題で足りない力を補うために活用してください。特に基礎力アップには効果的な設定です。

■ 東京藝術大学二次絵画表現対策

一昨年よりF30号が試験課題となりました。大きなキャンバスで実習するためスペースを必要としますが、全18アトリエを擁する本学では、年に複数回通常授業でも実習を可能にしています。

[東京藝術大学 絵画科 油画専攻 合格 多摩美術大学 絵画学科 油画専攻合格 武蔵野美術大学 油絵学科 油絵専攻 合格]



川野 裕有希

[千葉県立 土気高校]

振り返ると充実した受験生活でした。お世話になりました。現役のころから影響されやすいところがあり、周りの絵や評価ばかりを気にして一喜一憂していました。絵に対する価値観も凝り固まっていて、「受かる絵を描かなくては」という気負いばかりで、モチーフの観察を怠っていました。浪人しても絵面を気にしたり、あるいは無意識にルールを設定し、「こうでなくてはならない」と決めつけ、自分で自分の首を絞めることも多かったです。そんな頭の堅い自分を支えてくれたふな美には感謝でいっぱいです。どんなにダメでも全てが無駄ではなく、そこから得られることがあります。自ら考え、意思を持ち、こだわれば、必ず結果はついてきます。最後に、支えてくれた先生、友人、両親、全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

東京藝術大学 入試再現作品



二次絵画表現（取材）



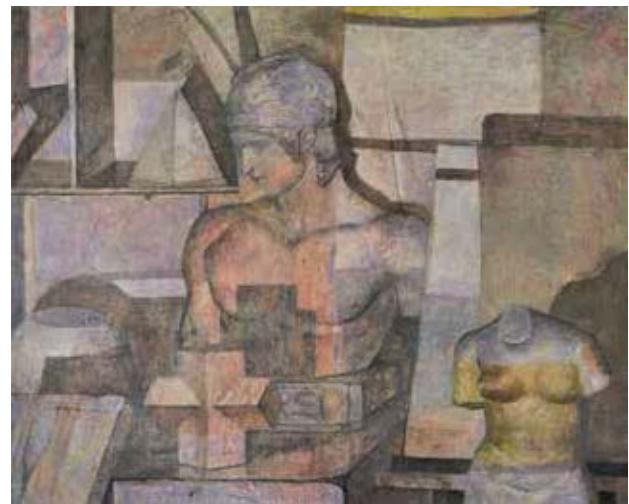
二次絵画表現



構成デッサン「テーマ・私の部屋」〔木炭・鉛筆／木炭紙〕



静物油彩「テーマ・未来」〔油絵の具・その他／F20号キャンバス〕



静物油彩〔油絵の具・その他／F15号キャンバス〕



構成デッサン「モチーフ・紙粘土」〔木炭・鉛筆／木炭紙〕



人物コラージュ〔木炭・鉛筆／木炭紙〕



静物油彩〔油絵の具・その他／F30号キャンバス〕



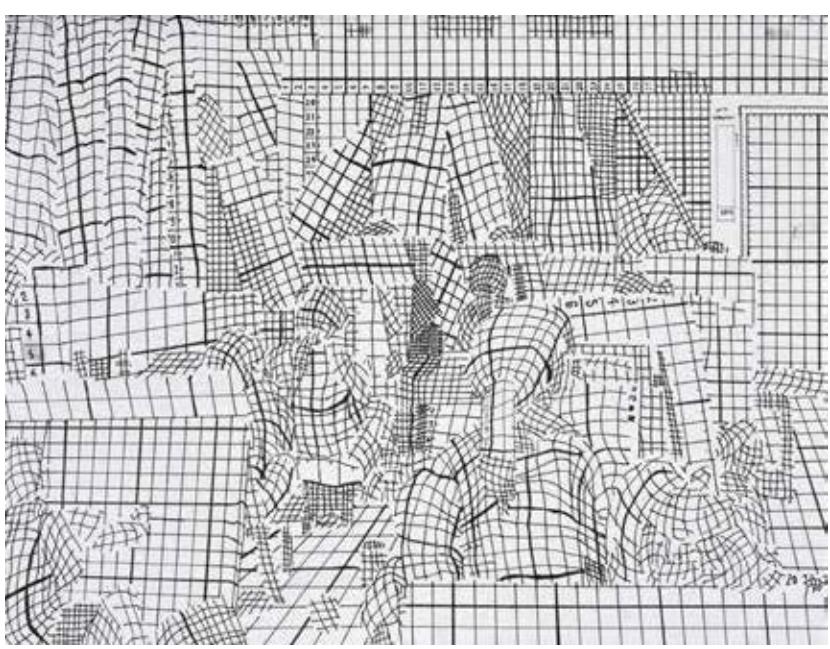
構成油彩「あなたの絵画のテーマを表現しなさい。」 [油絵の具・その他 / F30号キャンバス]



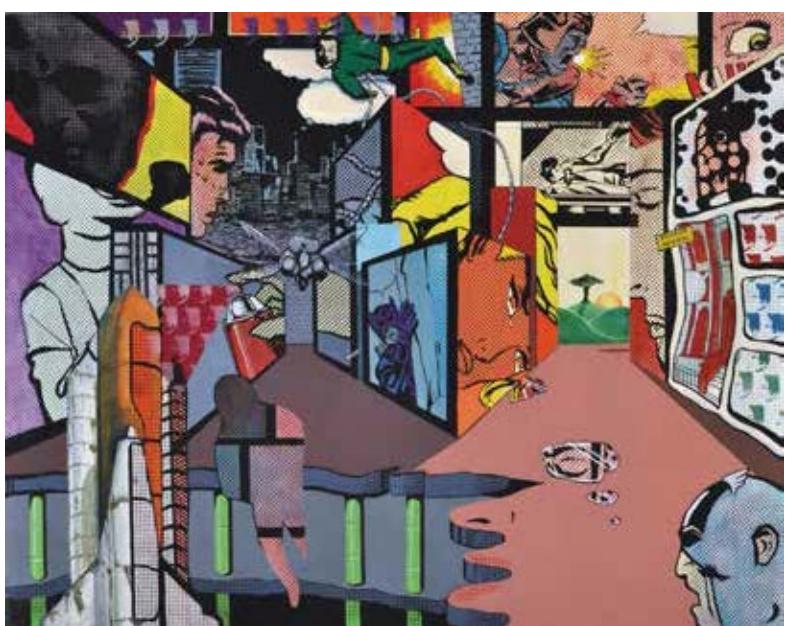
静物油彩 [油絵の具・その他 / F20号キャンバス]



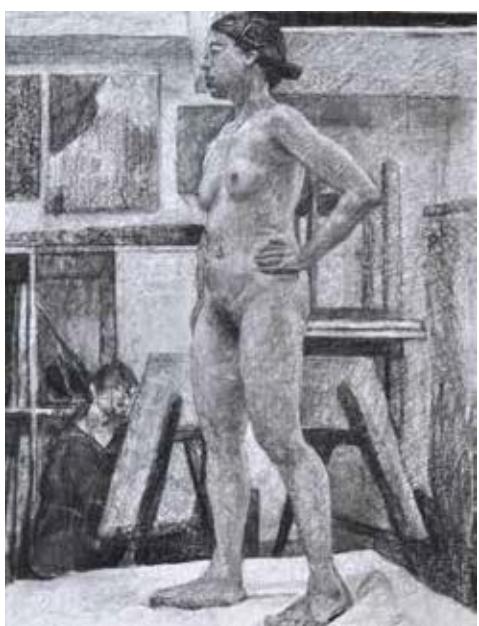
人物構成油彩「モデルと縄梯子」 [油絵の具・その他 / F20号キャンバス]



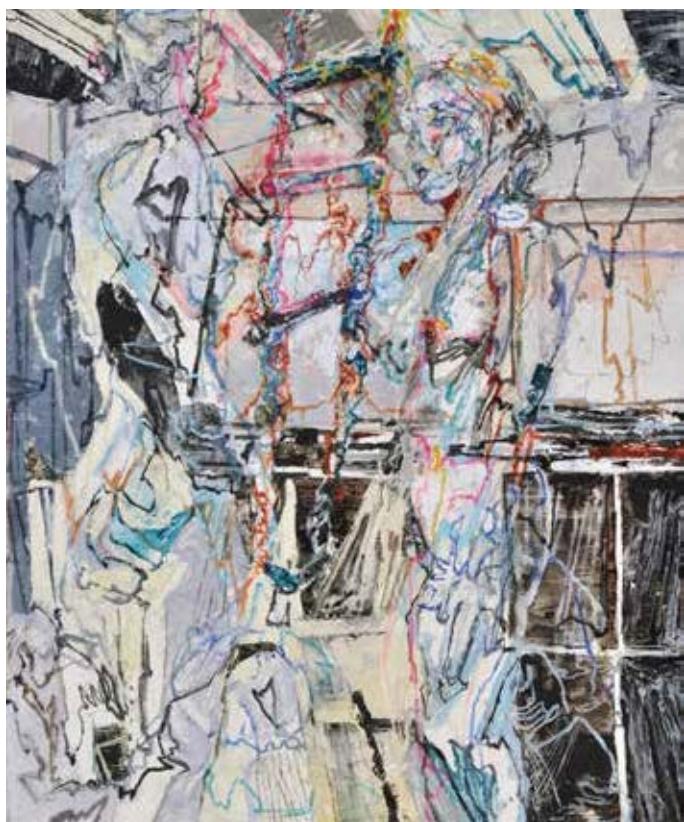
構成デッサン「モチーフ・工作用紙」 [鉛筆・木炭 / 木炭紙大画用紙]



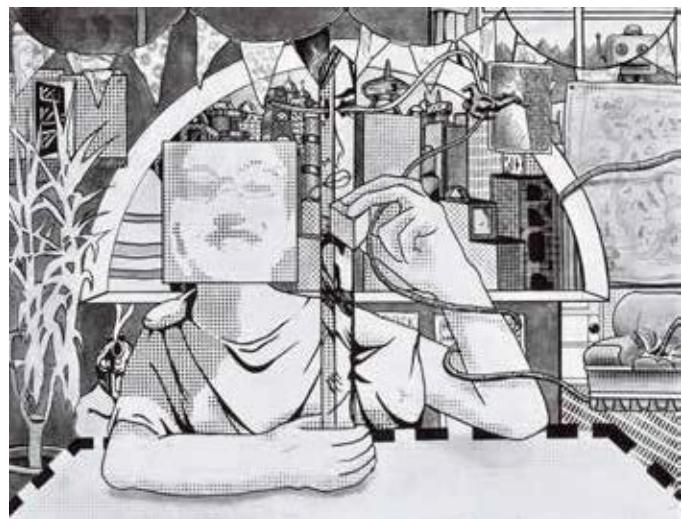
構成油彩「あなたの絵画のテーマを表現しなさい。」 [油絵の具・その他 / F30号キャンバス]



人物デッサン [鉛筆・木炭 / 木炭紙]



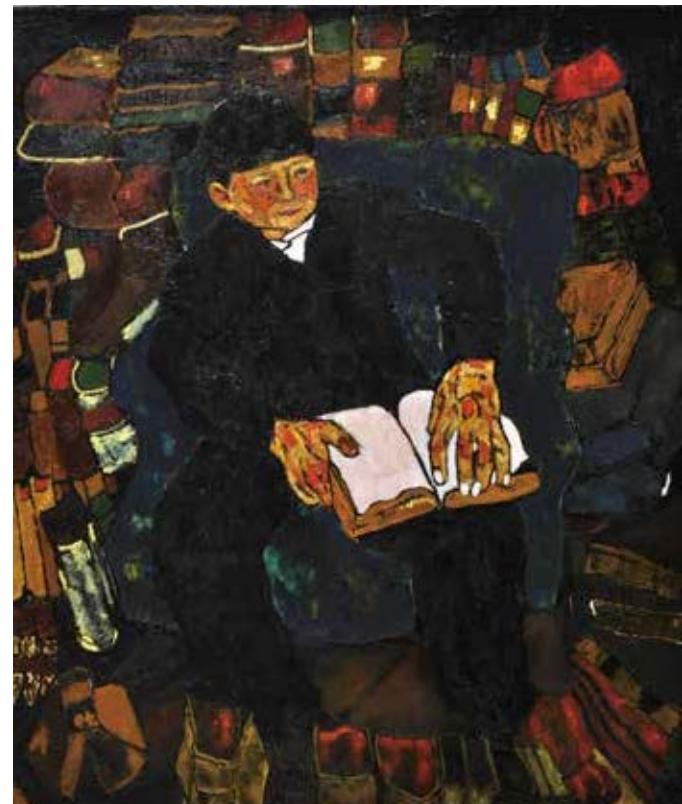
人物構成油彩「モデルと縄梯子」〔油絵の具・その他 / F20号キャンバス〕



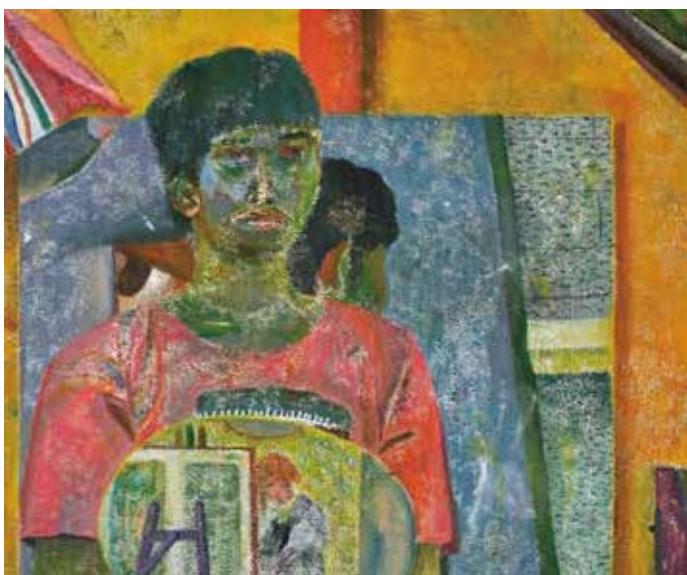
構成デッサン「私の部屋」〔木炭・鉛筆 / 木炭紙〕



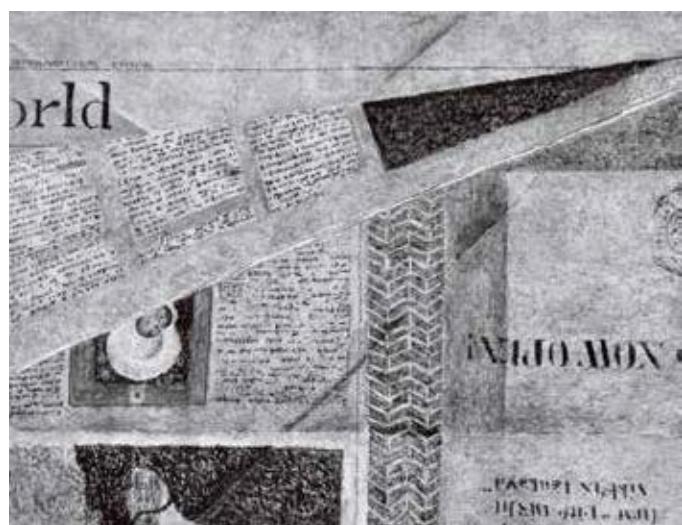
静物デッサン「石膏像とキューピーなど」〔鉛筆・木炭 / 木炭紙〕



構成油彩「自画像と画集を組み合わせて表現」〔油絵の具・その他 / F20号キャンバス〕



人物油彩「モデルと鏡」〔油絵の具・その他 / F20号キャンバス〕



構成デッサン「モチーフ・英字新聞」〔鉛筆・木炭 / 木炭紙大画用紙〕

油 画 科 [夜間部] OIL PAINTING

自分を信じることが出来る!

夜間部では、様々な課題を制作し、絵画表現において

本当に大切なことを理解していくことからはじめます。

という言い方をすると難しく聞こえるかもしれません、大丈夫です。

絵画の表現は多種多様ですから、みなみの講師陣の指導のもとで自分の作品に自信を持って制作してください。

東京藝術大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学などの難関校に現役合格をめざしましょう。

夜間部	月	火	水	木	金	土
実技 [17:15~20:15]	●	●	●	●	●	
選択実技 [14:00~20:15]					●	
選択学科						●

基礎科受験クラス	月	火	水	木	金	土
実技 [17:15~20:15]	●	●	●	●	●	

● はじめの一歩の半歩前に



油絵には興味があるけれど、油絵の具はさわったことないし、3年生からじゃ無理かなあと諦めてしまう人もいるみたいですが、そんなに難しいことはありません。もちろん、経験の長い人と同じことが始めてすぐの人にもできるということではありませんが、その人の経験や個性によって、さまざまな使い方ができるのが油絵の具の特徴です。そもそも油絵の世界には決まった正解なんかありません。うまい人、色のきれいな人、発想が面白い人。いろんな人がいて、いろんな絵があっていいんです。ですから「今さら遅いかな」という心配は無用です。「やってみよう」という気持ちがあれば大丈夫!

● 夜間部油 画 科 の カ リ キ ュ ラ ム 夜間部油 画 科 で は 、 課 題 を 大 き く 3 つ に 分 け て 考 え て い ま す。

① 基礎力養成課題

受験生それぞれが持つ「個性」を大切にしつつ、それをしっかりと作品に活かせるようにするには基礎力が不可欠です。

② 表現力応用課題

しっかりと身に付けた基礎力を發揮して、自由に、そして自分の表現したいことを明確に伝えるチカラを養います。

③ 試験対策実践課題

豊かな表現力と基礎力を試験の場で發揮できるように、各大学の制作時間や出題傾向を分析した課題で実践力を鍛えます。

中でも特に重視しているのが①基礎力養成課題

です。将来アーティストとして羽ばたくみなさんにとって、うわべだけの試験対策ではなく、土台づくりとしての基礎力構築は、むしろ合格への近道です。

● 特別な授業と行事

■ 個別面接・・・一人一人に丁寧に!

個別面接を適時行っています。志望校の選択や制作についてなど、一人一人に合わせて丁寧にアドバイスします。通学時間や高校との両立についてなど、学院生活全般の相談にも対応します。

■ 土曜日昼夜合同授業

土曜日の選択実技では夜間部と夜間部で合同授業を行います。夜間部生と一緒に制作することで、その経験豊かな制作方法を吸収しましょう。

■ 土曜選択学科

1・2学期は、土曜日が実技か学科の選択制になっています。学力に不安のある人は、なるべく1学期の学科から取り組んでください。

■ F30号の制作

夜間部の授業でもF30の制作を行います。芸大二次対策も万全です。

[東京藝術大学 絵画科 油画専攻 現役合格 多摩美術大学 絵画学科 油画専攻 現役合格]



こんにちは。大野真奈です。この度は、無事大学に合格しました。イエーイ。ワーウー。大野真奈さんは、高三の春は絵がヘタクソな女の子でした。だから、ここまで導いて下さった先生方、ありがとうございました☆ 先生たちは、外見はチャランボランだけど、意外と今まで良い人たちでした。ナビでは、自分の描き方とかが決まり、それを研究する事ができました。←たのしかったです。ここに来ていなかったら今の絵は完成していなかったような気がします。本当にありがとうございました。マナより♡

大野 真奈

[私立 和洋国府台女子高校]

東京藝術大学 入試再現作品



一次素描表現



二次絵画表現



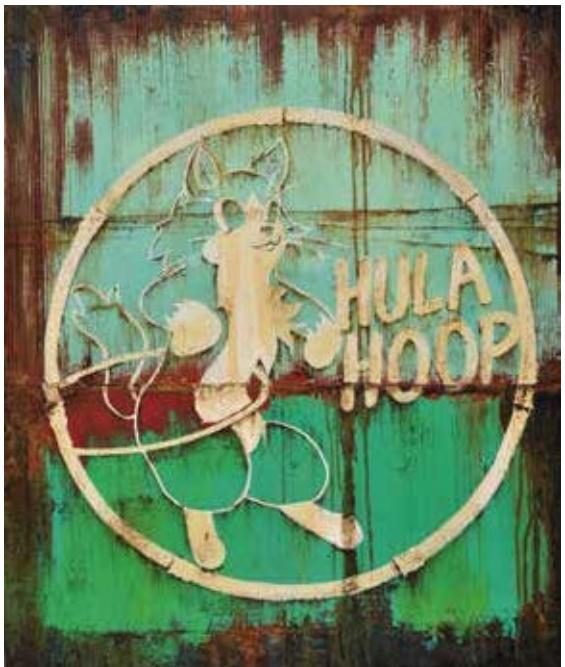
構成デッサン「モチーフ・虫眼鏡」〔木炭・鉛筆／木炭紙〕



人物油彩「モデルと鏡」〔油絵の具・その他／F20号キャンバス〕



構成油彩「フラフープと取材」〔油絵の具・その他／F20号キャンバス〕



構成油彩「フラフープと取材」〔油絵の具・その他／F20号キャンバス〕



静物デッサン「圧縮缶と缶」〔木炭・鉛筆／木炭紙〕



静物油彩「テーマ・未来」〔油絵の具・その他／F20号キャンバス〕

日本画科〔昼間部〕 JAPANESE PAINTING

観察 → 発見 → 実践 → 理解

ふな美の日本画科ではまずモチーフに真摯に、素直に向き合うことが良い作品作りの基本と考えています。

その意識から丁寧な観察力が身につき、本質につながる発見があり、描くモチベーションが生まれます。

毎日のその繰り返しに充実感を覚え、必ず「入試で選ばれる絵とはどういうものか」が理解できて

魅力ある作品を描く力が身につきます。

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:00~16:00]	●	●	●	●	●	
夜間強化講座 [17:15~20:15]	○	○	○	○	○	
選択実技 [14:00~20:15]					●	
選択学科 [14:00~20:10]						●



● すべては「合格」のため



1人ひとりの受験生に目的地「合格ライン」と立っている場所「今の実力」、そしてどこを伸ばし、補えば手が届くのかを理解できるように指導します。カリキュラムはアイディアに富み、綿密なスケジュール計算により組み立てられています。課題設定のコンセプトは「バランス良く実力がアップし、楽しくてやり甲斐があるから続けられること」。カリキュラムを1人ひとりに合わせていかに無理なく実行していくか、講師の指導力が問われますが、ふな美日本画科はそこで真価を発揮します。思い通りに出来ても、出来なくても描く行為があって得られた結果として自己分析できる前向きな受け止め方が身につき、継続のための原動力になります。継続力を支える正しいプラス思考は合格を果たした後の大学生活も豊かにします。

● さらなる授業内容の充実を目指す

- ◇ 土曜昼夜合同授業
- ◇ 油画科合同人物課題
- ◇ デザイン・工芸科合同デッサンコンクール

月～金までの通常授業に加え、土曜日は特別枠として様々な授業を取り入れます。他科や夜間部との合同課題や専用の教材を用いての実材実習など、美術の総合学院として授業の企画力を最大限に発揮します。

● 地の利を活かした授業

スケッチするための景色や施設、優れた作品にふれることができる美術館など、アトリエの外での授業が行いやすい環境にあります。船橋という都市の利点が授業の充実に大きく反映されます。

〔武蔵野美術大学 日本画学科 合格 女子美術大学 美術学科 日本画専攻 合格〕



米崎 碧
[千葉県立 佐倉高校]

ふな美に通い始めたのは高二の春でした。基礎科や夜間部のときは出来ることが少しづつ増えるのが嬉しくて、描くことが楽しかったです。浪人してからは自分の出来ないことばかり目に入り、自信もなく、中途半端な絵しか描けなくなりました。いつも見せ場が弱い絵ばかり描いていましたが、先生に相談したり、参考作品や他の予備校のパンフレットも見たりして、入試前には自分なりの見せ方ができるようになりました。このときに日本画だけでなく、他の科の作品を見たりもしました。日本画というくくりではなく、どうしたら良い絵が描けるのかという風に考えられるようになったのも、こうしてゆっくり悩むことができたからだと思います。基礎科からの三年間ありがとうございました。

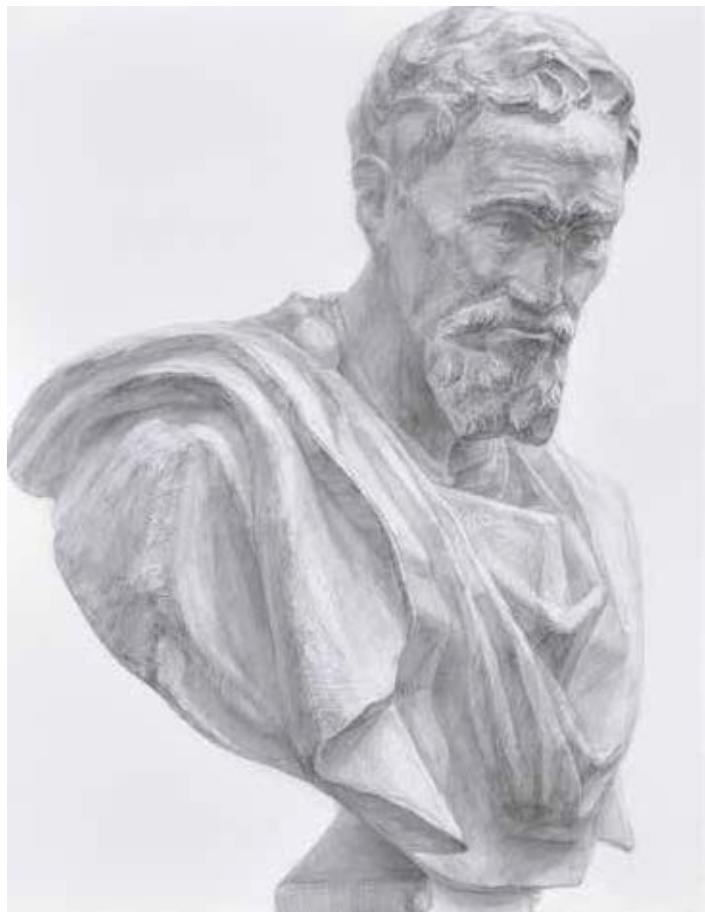


武蔵野美術大学 入試再現作品



着色写生

鉛筆デッサン



石膏デッサン [鉛筆・木炭紙大白象紙]



人物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



静物デッサン [鉛筆・木炭紙大白象紙]



石膏デッサン [鉛筆 / 木炭紙大白象紙]



静物デッサン [鉛筆 / 木炭紙大白象紙]

静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / F30白象紙]



構成着彩 [鉛筆・水彩絵具 / 木炭紙大白象紙]



静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



石膏静物デッサン [鉛筆 / P20白象紙]



人物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]

日本画科〔夜間部〕 JAPANESE PAINTING

見る・感じ取る・表現する

日本画では見ているものもありのままに素直に表現することで、感覚や技術を高めていきます。

入試では観察や表現に丁寧さを感じさせることが大切で、

そのためには画材の深い知識も必要です。

身につけた基礎力が、魅力ある作品作りを可能にし、合格への道を開きます。

夜間部	月	火	水	木	金	土
実技 [17:15~20:15]	●	●	●	●	●	
選択実技 [14:00~20:15]					●	
選択学科						●

基礎科受験クラス	月	火	水	木	金	土
実技 [17:15~20:15]	●	●	●	●	●	



● 合格とその先に繋がるもの

モチーフ(描く対象)とはモチベーション(描きたいと思う心)と語源が同じであることから、描く力とは目の前にあるものを「どう描けばいいのか」から「こう描きたい」へと変えられる力だといえます。それさえあれば技術はいつの間にか自然に身についていき、カリキュラムはそのことを受験生が自らの経験を通して実感し理解できる工夫に溢れています。講師は時には一緒に描くなどデモンストレーションを交えながら描く力を高める指導をします。夜間部は主に高校3年生が在籍しますが、高校生活との両立をふまえて1学期から入試直前まで確実なステップアップができるよう、密度の高いカリキュラムを組み立てます。



● 土日昼夜合同授業/テーマを絞って強化!

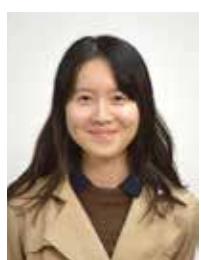
月～金の通常授業に加え、土曜日は実技、学科を選択して志望校に合わせた強化授業を行っています。実技ではパースやレタリング、細密描写など、テーマを絞った課題により、描写のコツやテクニックを身につけます。昼間部と一緒に制作することで得られる経験値は入試への自信につながります。私大志望で学力に不安があれば、学科授業を選択することで1年間で学力強化が可能となるので、通常の実技課題にも集中できるようになります。



● 受験生のみなさんへ

講師は毎日の課題に集中力を持って取り組めるように、1人ずつとのコミュニケーションを最も重視しています。面接で綿密にスケジュール確認をしながら、描く上での疑問がクリヤーになるまでとことん話します。制作と直接関係のない事柄でも相談相手になります。むしろそういう関係でいられることを望みます。講師と生徒は上下関係ではありません。人間同士としてはいつも対等の立場です。

[東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 日本画コース 合格 女子美術大学 美術学科 日本画専攻 合格]



私は高校二年生の秋からふな美の基礎科に通い始めました。基礎科ではいろいろなコースの絵を体験することが出来てとても楽しかったです。日本画に進んでからは初めて覚えることがたくさんあって目まぐるしい毎日でしたが、先生方はえんぴつの削り方から何から何まで一つずつ親身になって教えてくださいました。まったくダメだと落ち込んでいるときも、私の絵の数少ない良い所を発見してくれたりして、もっともっと頑張ろうと思うことが出来ました。それと優しい先輩にも恵まれました。このような素敵な人達に出会えて私のかけがえのない宝物に出来たのは全部ふな美に通ってのおかげです。二年間ありがとうございました。

池ノ谷 朱美

[私立 和洋国府台女子高校]



東北芸術工科大学 入試再現作品

水彩画



静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



石膏デッサン [鉛筆 / 木炭紙大白象紙]



静物デッサン [鉛筆 / 木炭紙大白象紙]



人物デッサン [鉛筆 / 木炭紙大白象紙]



静物着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]

新しい価値を創造する豊かな感性と知性を磨く

デザインの分野では多様化する価値観の中で幅広い視野と柔軟な発想力が求められています。

何気なく見過ごしている物事にも興味を持ち、

既成の概念や作られた言葉ではなく新しい価値を創造できるように

自分の感性と知性に磨きをかけて夢を実現させましょう。

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:00~16:00]	●	●	●	●	●	
夜間強化講座 [17:15~20:15]	○	○	○	○	○	
選択実技 [14:00~20:15]					●	
選択学科 [14:00~20:10]						●



● 合格へのカリキュラム

芸大デザイン科の入試ではデッサン・色彩・立体構成の3課題が出題されます。基礎的な事項を総合的に学びながら、それぞれの課題に対して的確な答えを出せるように実践力を鍛えて入試へ万全な体制を整えて行きます。一次試験のデッサンは構成デッサンと石膏デッサンの選択制なので、実技を通して適した選択ができるように指導します。

■ 表現の『基』をしっかりと学ぶ

デッサン…的確にモチーフを把握して表現するための描写力と観察から得たモチーフの特性を活かした構成力を養って行きます。

色彩構成…基礎的な色彩の知識をしっかりと学びながら、自分の発想・発見を的確に伝えるための描写力・構成力・表現力を身につけています。

立体構成…立体・空間構成の基礎的な知識を学び、素材の理解・道具の扱い方を含めて造形の基礎をしっかりと身につけていきます。

■ 合格をつかむ『突破力』強化

入試の壁を突き破るために、冷静に実力を見極める事がとても重要です。

個々の実力を的確に分析しながら長所に磨きをかけ、弱点を徹底的に補強します。入試対策課題に取り組みながら具体的な指導で対応力を養って行きます。課題へ明解に応えるために必要な実践的テクニックを習得して、効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための『突破力』を強化していきます。

● 観察力・発見力・表現力

『的確にものを捉える眼を養い、捉えたものから様々な発見をして、発見したことを表現する。』 テクニックだけを身につけても本当の力にはなりません。様々な物、事から発想するための発見ができるような柔軟で豊かな感性を養うことがデザインの根底で求められています。多彩な課題や講師とのディスカッションを通して、観察力・発見力・表現力をしっかりと磨いて本物の『デザイン力』を身につけましょう。



● 2つの特訓カリキュラム「夜スペ」と「土スペ」

夜間強化講座 デッサン力は全ての造形表現の「基」であり、合格に直結する重要な要素でもあります。夜間強化講座(夜スペ)ではデッサン課題を中心とした課題で徹底的にデッサン力を鍛えます。

土曜講座 土曜日は実技授業か学科授業のどちらかを選択出来ます。個々の実力を実技・学科の両面から分析して効率的に入試への対応力や弱点補強をすることが出来ます。実技授業では早い段階から入試の実践課題に取り組みながら経験値を増やしていくので、より充実した実戦力を養えます。※学科授業は学科ページを参照。

[東京藝術大学 デザイン科合格]



私は高二の春からふな美に通い始めました。デッサンも何もすべて初心者だった私に、基礎科の先生方は一から優しく教えてください、絵を描く楽しさを知りました。デザイン科に進んでからは作品の出来が悪かったり、思い通りに描けない時もありました。でもそんな時は、いつも陽気な友達や的確なアドバイスをくれる優しい先生方に支えられ、乗り越えていくことができました。ふな美で過ごした三年間、中でも浪人したこの一年間は今まで一番濃く、たくさん学び、たくさん笑った最高の一年間でした。ふな美で学べてよかったです。本当にありがとうございました。

会津 実香 [千葉県立 柏の葉高校 出身]



東京藝術大学 入試再現作品

構成デッサン

色彩構成



石膏+α デッサン [鉛筆 / 木炭紙大画用紙]



構成デッサン [鉛筆 / 木炭紙大画用紙]
与えられたモチーフ「ざくろ・孔雀の羽」と両手を組み合わせて構成デッサンしなさい。



構成デッサン [鉛筆 / 木炭紙大画用紙]
与えられたモチーフ「野球ボール・ダンボール」と両手を組み合わせて構成デッサンしなさい。



石膏デッサン [鉛筆 / 木炭紙大画用紙]



色彩構成 [木炭紙大サイズ]
モチーフ(パブリカ、白黒タイル、ワイングラス、グラジオラス)を用いて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「勝負」をテーマとして自由な発想で色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「和」をテーマとして自由な発想で色彩構成しなさい。



色彩構成 [木炭紙大サイズ]
モチーフ(直線1本、硬い・柔らかい、イケアコップ、各自の鉛筆)を用いて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「季節」をテーマとして自由な発想で色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
与えられたモチーフ(ミルキー、えびせん、アボロ)を用いて色彩構成しなさい。



立体構成〔水粘土〕
「気温」のイメージで立体構成しなさい。



立体構成〔ケント紙〕
「飛ぶ」と「周りの空間」をキーワードとして立体構成しなさい。



立体構成〔水粘土〕
「力」をイメージして立体構成しなさい。



立体構成〔水粘土〕
与えられたモチーフ(傘袋)と任意の質の直方体を構成要素として立体構成しなさい。



立体構成〔水粘土〕
与えられたモチーフ(デンファレ)と花を見せるための形体を組み合わせて立体構成しなさい。

新しい『かたち』を創り出す豊かな感性と知性を磨く

一言で工芸と言っても様々な分野があります。伝統工芸から最先端の技術を使った作品まで多岐に渡って工芸の世界は広がっています。何気なく見過ごしている物事にも興味を持ち、既成の概念で作られた形ではなく新しい『かたち』を創造できるように感性と知性そして『技』に磨きをかけて夢を実現させましょう。

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:00~16:00]	●	●	●	●	●	
夜間強化講座 [17:15~20:15]	○	○	○	○	○	
選択実技 [14:00~20:15]					●	
選択学科 [14:00~20:10]						●



● 合格へのカリキュラム

芸大工芸科の入試ではデッサン・平面表現・立体表現の3課題が出題されます。基礎的な共通項を総合的に学びながら、それぞれの課題に的確に応えるための実践力を鍛えて入試へ万全の体制を整えていきます。多摩美術大学・工芸科の静物デッサン対策にもしっかりと対応します。

■ 造形の『基』をしっかりと学ぶ

デッサン…正確にモチーフを把握して表現するための描写力を養います。モチーフの質感や構造をしっかりと捉えて描写表現できるように様々なモチーフ・課題に取り組んでいきます。

平面表現…基礎的な色彩の知識をしっかりと学びながら、自分の発想・発見を的確に伝えるための描写力・構成力・表現力を身につけています。

立体表現…模倣力をしっかりと身につけながら、立体・空間構成の基礎的な知識を学びます。素材の理解・道具の扱いを含めて造形の基礎をしっかりと身につけます。

■ 合格をつかむ『突破力』強化

入試の壁を突き破るためにには、冷静に実力を見極める事がとても重要です。個々の実力を的確に見極めながら長所に磨きをかけ、弱点を徹底的に補強します。入試対策課題に取り組みながら具体的な指導で対応力を養って行きます。入試に必要な実践的な技術を習得して効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための『突破力』を強化していきます。

■ ふな美的『工芸魂』

『何事にも臆せずに常に挑戦する。』これがふな美的『工芸魂』です。入試対策のみに捕われず石膏塑造・動物着彩・様々な素材での立体表現など多彩な課題にも積極的に取り組んで自分の可能性を広げていきます。

● 観察力・発見力・造形力



ものづくりの原点は観察です。観察して発見・発想したことから『かたち』をつくり出します。『的確にものを捉える眼を養い、捉えたものから様々な発見をして、発見したことを“かたち”にする。』技術だけを身につけても本当の力にはなりません。新しい『かたち』をつくり出せる柔軟で豊かな感性を養うことが工芸科では求められています。多彩な課題や講師とのディスカッションを通して「かたち作り」の基盤となる「3つの力」を「ふなびの工芸魂」で鍛え上げていきましょう。

● 2つの特訓カリキュラム「夜スペ」と「土スペ」

夜間強化講座 デッサン力は全ての造形表現の「基」であり、合格に直結する重要な要素でもあります。夜間強化講座(夜スペ)ではデッサン課題を中心とした課題で徹底的にデッサン力を鍛えます。

土曜講座 土曜日は実技授業か学科授業のどちらかを選択出来ます。個々の実力を実技・学科の両面から分析して効率的に入試への対応力や弱点補強をすることが出来ます。実技授業では早い段階から入試の実践課題に取り組みながら経験値を増やしていくので、より充実した実技力を養えます。

※学科授業は学科ページを参照。





平面表現 [A2サイズ]

与えられたモチーフ(いちご、もも、想定の六角形、白リボン、A3トレーシングペーパー)を組み合せて平面表現しなさい。



立体表現 [水粘土]

亀の子タワシ・スポンジ・ゴムチューブを組み合わせて立体表現しなさい。



立体表現 [水粘土]

青梗菜と台を組み合わせて立体表現しなさい。



石膏デッサン [鉛筆 / 木炭紙大白象紙]

デザイン・工芸科 [昼間部] DESIGN & CRAFT 私立美大平面・立体系クラス

豊かな感性と知性で夢を実現させよう！

デザインの分野では、多様化する価値観の中で多角的な視野と柔軟な発想力が求められています。

入試課題のみの対策に捕われてしまうと真の実力が身につきません。

様々なことに興味を持ち既成の概念や作られた言葉ではなく、

新しい価値を創造できるように感性と知性に磨きをかけて夢を実現させましょう。

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:00~16:00]	●	●	●	●	●	
夜間強化講座 [17:15~20:15]	○	○	○	○	○	
選択実技 [14:00~20:15]					●	
選択学科 [14:00~20:10]						●



● 合格へのカリキュラム

私立美大の多様化した入試を突破するためには、自分の発想やイメージを明解に伝えるための「伝達力」を磨くことが大切です。正確な観察力と豊かな発想力を養いながら、発想を作品にしていくための技術力と構成力を身につけて伝達する力を養います。



■ 表現の『基』をしっかりと学ぶ

デッサン…正確にモチーフを把握して表現するための描写力を養います。モチーフの質感や構造をしっかりと描写表現できるように多彩なモチーフ・課題に取り組んでいきます。

色彩構成…基礎的な色彩の知識をしっかりと学びながら、自分の発想・発見を的確に伝えるための描写力・構成力・表現力を身につけます。

立体構成…立体・空間構成の基礎的な知識を学び、素材の理解・道具の扱い方を含めて造形の基礎をしっかりと身につけていきます。

■ 合格をつかむ『突破力』強化

入試の壁を突き破るためにには、冷静に実力を見極めることがとても重要です。私立美大入試にはそれぞれ異なる特徴があります。個々の志望専攻に即した対策課題に取り組みながら具体的な指導で入試への対応力を養っていきます。実践的なテクニックを身につけ、効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための『突破力』を強化していきます。

● 観察力・発見力・伝達力

■ 発想力に磨きをかける！

私立美術大学では課題のテーマやモチーフに素直に反応して、イメージ・形・色を「発想する力」が求められています。そのためには、日頃から様々な事に興味をもつ事が大切です。机の上で考えるだけでは発想は広がりません！五感を働かせ「見て・聞いて・触って」経験し考る事が発想の源になります。柔軟で豊かな感性を養う事がデザインの根底で求められていて、様々な課題や講師とのディスカッションを通して発想力を磨き、将来の基盤となる力を培っていきます。

■ 「発想」を『かたち』にするための 『デッサン力と構成力』を養う。

デッサン課題では鉛筆での描写力を身につけながら『的確にものを捉える観察力』を養い、構成課題では色彩の基礎的な事柄を学び『発見した事を伝達するための構成力』を養います。課題に対して的確に答えられるようにテクニックを学んで表現力を豊かにし 隙のない勉強をしていきます。

[多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 合格]

統合デザイン学科 武蔵野美術大学 基礎デザイン学科 東京造形大学 デザイン学科グラフィックデザイン専攻 合格】



私は一浪の春からふな美に通い始めました。実技の経験もなく、最初の頃は周りと大きな実力の差がありました。少しでも早く追いつけるように、毎日ふな美でも家でも美術のことばかり考えていました。そうやって過ごしていくうちに、実技も少しずつ上達していくことができました。受験前に制作がうまくいかなくて苦しんでいたときもありましたが、先生方に励ましてもらしながら、なんとか最後までやりきることができました。私はこの一年間ふな美でたくさんのこと学びました。どれも良い思い出です。本当にありがとうございました。

杉本 沙織 [千葉県立 幕張総合高校]

多摩美術大学 入試再現作品



構成デッサン



色彩構成

ANIMAL



色彩構成 [B3サイズ]
「ANIMAL」の文字とイメージを組み合わせて色彩構成氏なさい。



色彩構成 [B3サイズ]
正方形、円、曲線、直線、を構成要素として自由に色彩構成しなさい。



構成デッサン [鉛筆 / B3]
各自の手とダリア、想定の花瓶を組み合わせて構成デッサンしなさい。



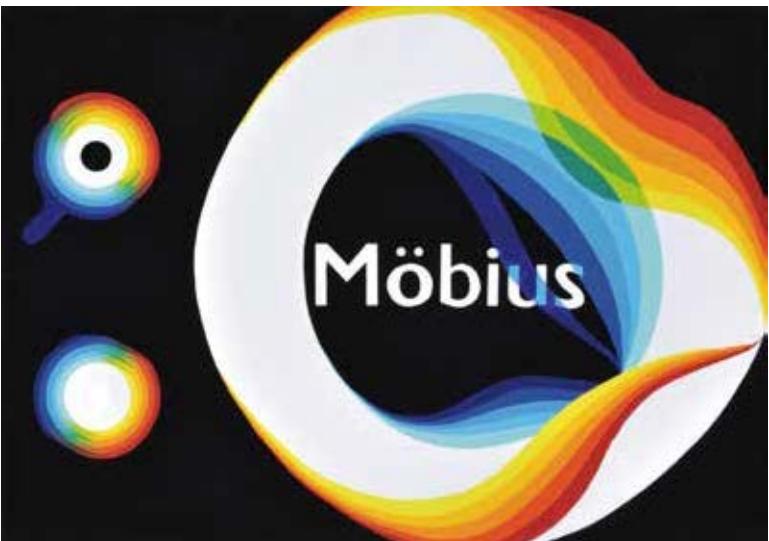
静物デッサン [鉛筆 / B3]



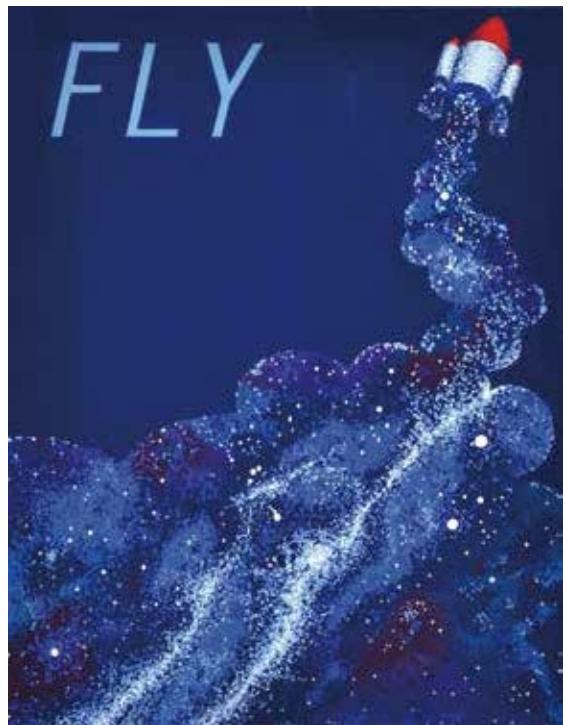
色彩構成 [B3サイズ]
「辛」の文字とイメージを組み合わせて色彩構成氏なさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「各自の鉛筆、ガラスコップ」を組み合せて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「メビウス」の文字とイメージを組み合せて色彩構成しなさい。



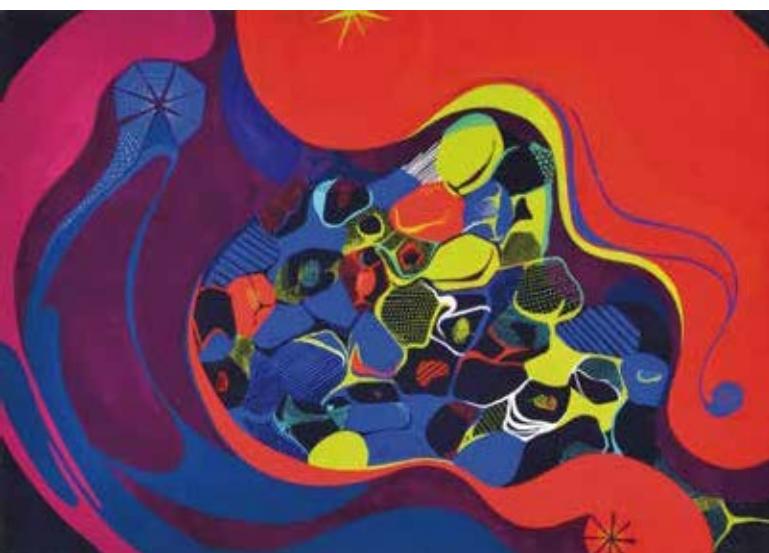
色彩構成 [B3サイズ]
「FLY」の文字とイメージを組み合せて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「各自の手と正方形」をモチーフに色彩構成しなさい。



構成デッサン [鉛筆 / B3]
「各自の手と透明ビニールホース」をモチーフに構成デッサンしなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「ザクロ」をモチーフとして色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「水とガラス球」をモチーフに色彩構成しなさい。



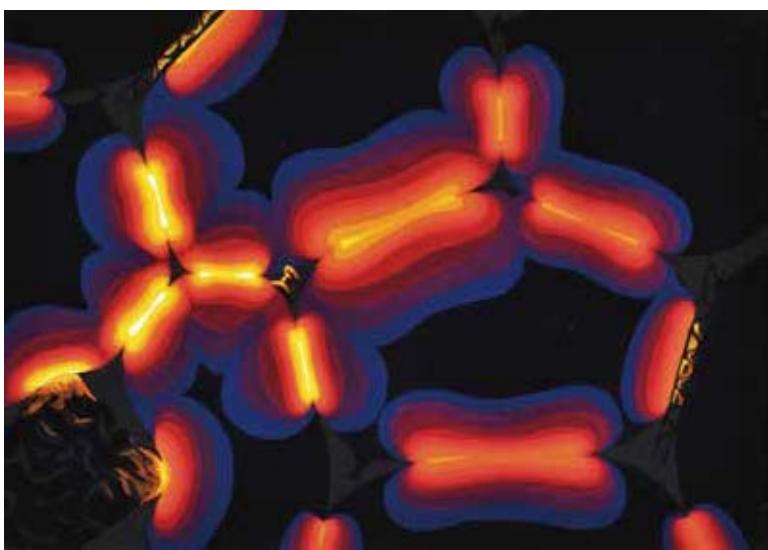
静物デッサン [鉛筆 /木炭紙大]



構成デッサン [鉛筆 / B3]
各自の両手を「スコップを使う状況」をテーマに構成デッサンしなさい。



静物デッサン [鉛筆 / B3サイズ]



色彩構成 [B3サイズ]
「伝」をテーマにモチーフ(ゴム風船、ピンクローブ、ダンボール板)と組み合わせて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「海」の文字とイメージを組み合せて色彩構成しなさい。

デザイン・工芸科〔夜間部〕 17:15~20:15 芸大・私大総合クラス DESIGN & CRAFT

個性を活かして自由な発想で可能性を開拓しよう！

デザインの分野では多様化する価値観の中で多角的な視野と柔軟な発想力が求められています。

自分の可能性を広げて目標を見極めながら、何気なく見過ごしている物事にも興味を持ち、

既成の概念や作られた言葉ではなく新しい価値を創造できるように

自分の感性と知性に磨きをかけて夢を実現させましょう。

夜間部	月	火	水	木	金	土
実技 [17:15~20:15]	●	●	●	●	●	
選択実技 [14:00~20:15]						●
選択学科						●

基礎科受験クラス	月	火	水	木	金	土
実技 [17:15~20:15]	●	●	●	●	●	

◎現役合格へのカリキュラム

● 「基礎力」と「発想力」を育んで自分の可能性を広げていきます。〈春から夏は基礎力の育成!〉

デザイン工芸科の入試では様々な課題が出題されます。入試対策ばかりに捕われてしまうと真の力が身につきません。様々な課題を通して造形表現の「基」をしっかりと学び自分の可能性を広げましょう。

■ 造形の『基』をしっかりと学ぶ

デッサン…ものを観る力・描く力を養います。 色彩構成…発想・発見を的確に伝えるめの「色彩感覚」「構成力」「表現力」を養います。
立体構成…素材の理解・道具の扱い方を含めて、「模刻力」「造形力」「表現力」を養います。

● 現役合格するための柔軟なカリキュラムで「突破力」を身につけます。〈夏期講習から秋は「突破力」〉

入試を攻略するには、客観的に実力を見極める事が重要です。夏期講習以降は的確な実力分析と具体的な指導で、長所に磨きをかけ弱点を補強して課題への対応力を養います。実践的なテクニックを身につけて効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための「突破力」を強化していきます。

● 実力・志望校に合わせて、選択課題で効率的に「合格力」を養います。〈冬期講習から入試直前講座〉

実力や志望校は個々によって異なります。様々な入試課題に選択課題で対応しながら、実践的な力を養い合格を目指します。

■ 観察力・発見力・伝達力

『的確にものを捉える眼を養い、捉えたものから様々な発想をして、発想したことを伝達する。』テクニックだけを身につけても本当の力にはなりません。様々な物、事から発想するための"発見"ができるような柔軟で豊かな感性を養うことがデザインの根底で求められています。様々な課題や講師とのディスカッションを通して、観察力・発見力・伝達力を養っていきましょう。

■ 春・夏・秋・冬の面談

その都度、個別面談をおこなって個々の状況を把握しながら志望校や課題についての疑問に応えていきます。

■ 昼夜合同の夜間授業

夜間部のカリキュラムと昼間部の夜間特訓をリンクさせて同じ時間で課題に取り組んで行きます。夜間部の新鮮な「発想」と昼間部の「技術力、対応力」を相互に影響させながら、総合的にレベルUPを目指します。

■ 土曜は選択授業で効率的に学び、昼間部生と勝負!

土曜日は実技授業か学科授業のどちらかを選択することが出来ます。個々の実力を実技・学科の両面から分析して効率的に入試への対応力や弱点補強することができます。実技授業では大きなメリットとして昼間部生と合同で課題に取り組むことができます。早い段階から高いレベルの中で入試の実践課題に取り組みながら経験値を増やしていくので、より充実した実技力を養えます。

※学科授業は学科ページを参照。

[東京藝術大学 デザイン科 現役合格]

多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 同 統合デザイン学科 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 現役合格]



蛭田 真衣

[千葉県立 船橋東高校]

私は高二の春からふな美に通い始めました。基礎科では、日々増えていく美術の知識に胸を躍らせながらのびのびと過ごしていましたが、デザイン科へ進むと受験を意識しそぎたせいか、通うのが辛くなってしまいました。入試直前には不安な気持ちと、うまく課題に応えられない悔しさに泣いてしまうこともあります。そんな中でも私が通い続けることができたのは、親身になって相談に乗って下さる先生方と、同じ目標を持った友達がいたからです。私一人の力では、このような結果には決してなりませんでした。先生方、友達の皆、本当にありがとうございました。これからもふな美で教わったことや、友達と過ごした日々を忘れずに将来に向かって歩んでいこうと思います。



東京藝術大学 入試再現作品



色彩構成

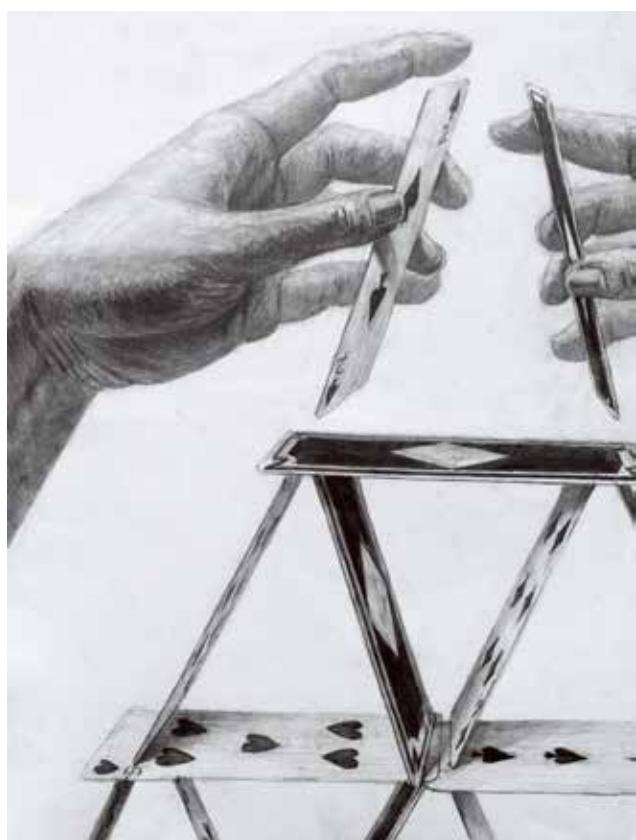
立体構成



色彩構成 [B3サイズ]
ロールパン、ペリエ瓶をモチーフとして「食」のイメージで色彩構成しなさい。



構成デッサン [鉛筆 / B3画用紙]
各自の手、想定の魚をモチーフとして構成デッサンしなさい。



構成デッサン [鉛筆 / 木炭紙大画用紙]
「並べる手」をテーマとして構成デッサンしなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「花」のイメージで色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「ドキドキ」のイメージで色彩構成しなさい。



立体表現 [水粘土]
植物を任意の直方体上に構成し立体表現しなさい。

土日受験部 WEEKEND CLASS

土日受験部	月	火	水	木	金	土	日
実技	[14:00~20:30]				●		
	[9:30~16:30]					●	
選択学科	[14:00~20:10]				○		

高校生・高校卒業生対象

実技授業

土(14:00~20:30)/日(9:30~16:30)

※両日(週2日)または選択(週1日)

※選択学科(土)+実技授業(日)も可



● 土日受験部の対象学生 限られた時間だからこそ、1日でも早くスタートしよう。

国公立大志望で 学科のウェイトが 高い人

筑波大学・東京学芸大学・千葉大学等、大学入試センター試験で5教科以上の科目で高得点を必要とする国公立大学の受験においては、配点比率が実技よりも学科試験に重きが置かれています。したがって、週末に実技対策を行うことで、勉強とのバランスが取りやすくなります。唯一の国立芸術総合大学である東京藝術大学においては、芸術学科および建築科のセンター試験必要教科数が多くなっています。

部活動等で 週末しか 通えない人

できれば油画・日本画・デザイン工芸各科の夜間部週6日授業に通いたいが部活動があるため通えないという人も、週1日から対策を始めることが可能です。毎週土曜日を選択することで昼間部・夜間部の各科学生と同じ実技を受けることができます。また、6月前後で部活動が終了する場合は、油画・日本画・デザイン工芸の各科週6日通学へ切り替える手続きも可能です。1日でも早く受験対策を始めることが重要です。

遠隔地で 週末しか 通えない人

片道一時間半以上を要する地域の皆さんは、高校との両立を考えた場合、なかなか夜間部に在籍して週6日通うことが難しいと思います。普段は週末の実技でポイントを掴み、夏期講習や冬期講習でなるべく多く受講することで受験の対策が可能です。学生会館等の手配に加え、本学独自の講習会費宿泊割引制度や入学時土日総合クラスを対象とした遠隔地特待制度も活用して志望校を目指しましょう。

技術よりも アイデアや 個性を活かして 受験する人

油画・日本画・デザイン工芸といった週6日通学で技術的な実力につけるよりも、アイデアや個々に異なる自己制作の方が有効な美大受験も存在します。ウィークデーはインプットに充て、週末にアウトプットするリズムを作ることで、学科の勉強とのバランスも含め効率的に芸大美大合格を目指します。東京藝術大学の先端芸術表現科や私立美大の映像系が該当します。

[筑波大学 芸術専門学群 構成専攻 現役合格]

武蔵野美術大学 デザイン情報学科 東京造形大学 デザイン学科グラフィックデザイン専攻 現役合格】



絵を描くことが大好きだったので、高校に入ると美術部に入部しました。高二の夏、美術部の顧問の先生が「一回予備校に行ってみて刺激を受けてくるといい」と言って下さいました。当時教育実習に来ていた筑波大学芸術専門学群出身の先生に相談すると、みな美を進めてくれたので、美術部の友達と基礎科の夏期講習に参加しました。そしてものすごい刺激を受け、自分が狭い世界で生きてきたことを実感しました。みな美から遠い田舎に住んでいたので、夏期、冬期講習には参加しました。遠方から来た私たちを先生方は温かく迎えて下さいました。サポートもとっても充実していました!センター試験はなんとE判定という、もう涙も出ないほどの結果だったのですが、みな美での入試直前講座には落ち着いて参加することができました。きっと、今までやってきたことが自信になったんだと思います。みな美の先生方には感謝しかありません。本当にありがとうございました!

小川 日菜子 [千葉県立 安房高校]

筑波大学 芸術専門学群 構成専攻 入試再現作品 平面構成



週末実技で合格をめざす!

多種多様な実技試験への対応や、様々な学生の状況に応える形で土日受験部を4つの科に再編しました。学科の勉強との両立が必要な国公立大学受験への対応に加え、独自の実技試験を課す一般大学への個別対応、推薦・AO試験の対策まできめ細かく対応していきます。また、部活動との両立や遠隔地通学など、個々の状況に合わせた受験対策も昼夜間部連動の土曜授業（油画・日本画・デザイン工芸）を活用し、ポイントを押さえた指導を行なっていきます。

過去8年間の合格実績（絵画・デザイン）

筑波大学	28名	多摩美術大学	22名
千葉大学	25名	武蔵野美術大学	56名
東京学芸大学	11名	東京造形大学	11名
首都大学		女子美術大学(短期含)	33名
沖縄県立芸術大学		日本大学芸術学部	23名
富山大学		横浜美術大学	4名
長岡造形大学		東京工科大学	10名
秋田公立美術大学 等、国公立大学合格		京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 神戸芸術工科大学・東京家政大学 共立女子大学・玉川大学・東海大学 等、私立大学合格	
		桑沢デザイン専門学校合格	

● 土日受験部のクラス

総合(週2日)クラス

毎週土曜・日曜両方通うクラスです。土曜日は午後2時から、日曜日は午前9時半が開始となっています。高校生活や部活との両立がしやすく、かつ実技力を養成するのに適した時間数を確保しています。部活終了後、絵画・デザイン系週6日通学で本格的に芸大美大を受験する人は、なるべく総合クラスをお勧めします。

↑
↑
↑
↑
いつでもステップアップ可能

選択(週1日)クラス

毎週土曜もしくは日曜のいずれかに通うクラスです。土曜日は午後2時から、日曜日は午前9時半から開始となっています。遠隔地通学や国公立大志望で学科とのバランスがより重要という人に向いています。原則として土曜もしくは日曜いずれか固定となります。事前に申し出ることで振替が可能な場合があります。

● 土日受験部の対応4科

土日受験部 絵画科

鉛筆や木炭でのデッサンを中心に、油画／日本画等の絵画系学科の対策を行います。各期講習会では、本学の油絵科・日本画科との連携で実技力のアップをはかります。 P34へ

土日受験部 デザイン科

各種デッサンに加えて、平面構成等の絵の具を使った実技にも対応します。絵画系同様、各期講習会でデザイン・工芸科のコースに参加することが出来ます。 P35へ

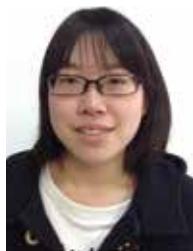
土日受験部 先端藝術 ・映像科

東京藝術大学先端藝術表現科をはじめとして、武蔵野美術大学映像学科等の映像／アニメーション系の入試実技に対応した実習を行います。小論文等文章実技の対策も可能です。 P36へ

土日受験部 建築科

東京藝術大学建築科をはじめ、私立美術大学建築系から千葉大学工学部、早稲田大学創造理工学部等理工系建築学科の実技までポイントを押さえた対応が可能です。 P38へ

[千葉大学 教育学部 小学校教員養成課程 図画工作科選修 現役合格 女子美術大学 美術学科 美術教育専攻 現役合格] —————



わたしが千葉大の教育学部に行こうと決めたのは、三年生の夏休みが終わってからでした。絵の勉強がほとんどできないまま、一月からふな美に通うようになりました。デッサンの注意点を先生方からたくさん教えていただき、回を重ねるたびに上達していました。試験ではデッサンを最初にやったのですが、いつも通りに描けたのが試験中、心の支えになりました。ふな美のおかげでデッサンが上達し、春から大学生活を送れます。本当にありがとうございました。

酒井 夏希 [千葉県立 船橋東高校]



千葉大学 入試再現作品 鉛筆デッサン

[土日受験部] 絵画科 PAINTING

鉛筆や木炭でのデッサンを中心に、油画・日本画等の絵画系学科の対策を行います。

各期講習会では、本学の油画・日本画科との連携で実技力のアップをはかります。

土日受験部	月	火	水	木	金	土	日
実技 [14:00~20:30]					●		
[9:30~16:30]						●	
選択学科 [14:00~20:10]					○		

高校生・高校卒業生対象

※土・日両日(週2日設定)または土・日選択(週1日設定)

※選択学科(土)+実技授業(日)も可

● 主な志望校・志望学科で科を選ぼう

国公立大

筑波大学芸術専門学群 洋画専攻
東京学芸大学教育学部 美術専攻
千葉大学教育学部 教員養成課程
金沢美術工芸大学 美術科
秋田公立美術大学
長岡造形芸術大学

私立美術系

武蔵野美術大学 版画学科
東京造形大学 美術学科
女子美術大学 洋画専攻
日本大学芸術学部 美術学科
横浜美術大学(A系)
東北芸術工科大学 美術科



静物油彩



志望校合格

- 例:芸大美大志望。運動部で大会の終わる6月まで週末2日で通学し、大会終了後は週6日の夜間部各科へ合流する。
例:国公立・私大併願。前期は勉強にウェイトを置き週1日通学、学力の安定した後期に週2日へ変更し実技力を向上させる。
例:国公立志望。遠隔地のため通えるのは日曜のみ。講習会時・入試直前は宿泊施設を利用し遅れを取り戻す。

所定の手続きを行うことで
年の途中から週1日→週2日→週6日
(夜間部・昼間部)への変更も可能です。



石膏デッサン

■ 1学期は基礎デッサン力を身につけよう

国公立美術教育系・私立美術系ともに入試において重要なのは基礎デッサン力です。したがって、1学期は石膏デッサンや静物デッサンなどの基本課題を中心にはじめます。絵画科では木炭デッサンの実習も可能です。また、東京藝術大学や私立美術大学で着彩試験を必要とするみなさんは、なるべく早い段階で週6日通学に切り替えると良いでしょう。転部の時期や夏期講習の相談は1学期中に面接をしながらサポートします。

■ 夏期講習以降は志望校別対策へ

夏期講習会以降は、それぞれの志望校試験課題を前提とした個別のカリキュラムにしたがって実習していきます。推薦入試やAO入試の人は入試直前の時期にあたるので、時間対応力やポートフォリオの作成サポート、面接練習など細かく対応していきます。

■ 3学期は入試直前講座でウィークデーもプラス

年明けセンター試験終了後は高校の自由登校に合わせ、土日だけでなくウィークデー(入直前講座は要申込)も実習が可能です。センター後に独自の学科試験を行わない国公立教育・絵画系志望のみなさんは、センター試験終了後にどれだけ実技枚数をこなすかが重要な合否のポイントになります。試験に慣れるという意味でも、デッサンだけで受けられる私立美大併願もサポートします。

[秋田公立美術大学 美術学部 美術学科 合格]



私は半年間通信教育で学んでから、一年間美術総合受験科に通いました。美総は、絵画科やデザイン科など、それぞれ違う大学を目指す生徒が同じ教室で学んでいます。その為、先生方が生徒一人一人に合った課題を毎回考えて下さいます。自分の専攻以外の先生からご指導頂けるだけでなく、他の科の生徒の作品を見ることもでき、良い経験になりました。私は志望大学が定められずにいたのですが、美総の先生方は様々な志望を持つ生徒を見ていているため、大学の情報も豊富で、色々教えて頂きました。お陰様で志望大学を決めることができ、合格へ繋りました。親身になってご指導くださった先生方に、とても感謝しています。本当にありがとうございました。

名嘉真 伽奈子 [沖縄県立糸満高校]



秋田公立美術大学 美術学部 美術学科 入試再現作品 平面構成

DESIGN デザイン科 [土日受験部]

各種デッサンに加えて、平面構成等の絵の具を使った実技にも対応します。
絵画科同様、各期講習会でデザイン・工芸科のコースに参加することができます。

土日受験部	月	火	水	木	金	土	日
実技 [14:00~20:30] [9:30~16:30]					●		
選択学科 [14:00~20:10]						○	

高校生・高校卒業生対象

※土・日両日（週2日設定）または土・日選択（週1日設定）

※選択学科（土）+実技授業（日）も可

● 主な志望校・志望学科で科を選ぼう

国公立大

筑波大学芸術専門学群 構成専攻
筑波大学芸術専門学群 デザイン専攻
千葉大学工学部 デザイン学科(AO)
首都大学 システムデザイン学部
金沢美術工芸大学 デザイン科
長岡造形芸術大学
富山大学芸術 文化学部

私立美術系

武蔵野美術大学 デザイン情報学科
多摩美術大学 情報デザイン学科
東京造形大学 デザイン学科
女子美術大学 デザイン系各科
日本大学芸術学部 デザイン学科
横浜美術大学(V・C系)
東京工科大学 デザイン学部



構成デッサン

4月 6月 8月 9月 12月 1月 2月 3月



例：芸大美志望。 運動部で大会の終わる6月まで週末2日で通学し、大会終了後は週6日の夜間部各科へ合流する。

例：国公立・私大併願。前期は勉強にウェイトを置き週1日通学、学力の安定した後期に週2日へ変更し実技力を向上させる。

例：国公立志望。 遠隔地のため通えるのは日曜のみ。講習会時・入試直前は宿泊施設を利用し遅れを取り戻す。

所定の手続きを行うことで
年の途中から 週1日 → 週2日 → 週6日
(夜間部・昼間部)への変更も可能です。

■ 1学期は基礎デッサン力を身につけよう

デザイン系の国公立・私立美術系ともデッサン力は最重要です。1学期は絵画科と同様、石膏や静物モチーフを中心に鉛筆デッサンを中心に授業を行います。東京藝大のデザイン科・工芸科、私立美術大学で平面構成の試験がある学科を受ける場合は、遅くとも夏期講習会から週6日デザイン・工芸科に合流していくのが望ましいでしょう。



静物デッサン

センター試験の5教科高得点を要する国公立志望の場合は、学科の勉強とのバランスを重要視、なるべく早い時期に学力を安定化することをお勧めします。

■ 夏期講習以降は志望校別対策へ

夏期講習会から志望校に合わせた対応に切り替えていきます。独自の課題解説による構成デッサンやイメージデッサンも実習していきます。また、アクリル絵の具を使用する平面構成や、各種素材を使った立体構成など、デザイン系ならではの課題にも取り組んでいきます。推薦やAO入試対策も本格的に直前対応を行います。

■ 入試直前講座で時間対応を含めた追加対策

3学期、センター試験以降は入試直前講座として通常の土日週末に加え、ウィークデーにも追加実習（要申込手続き）ができるようになります。高校の自由登校期間をうまく活用して、なるべく多くの実技実習の受講をお勧めします。私大・国公立とも個別の対策カリキュラムを立てて対策します。

[多摩美術大学 生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 2018年度推薦入試 現役合格]



私は高3になるまで体育会系の部活動に集中していたため、全く美術に触れて来ず、むしろ絵を描くことは苦手な方でした。けれども将来を考えた時、美大でデザインを学びたい気持ちが湧き、それだけで美術・デザイン系の進路をとることを決めました。全くの未経験でピクピクしながらふなびに入りましたが、最初は部活との両立で土曜日しか通うことができませんでした。そんな私に講師の先生方は本当に優しくゼロから丁寧に教えてくれたので、思ったより心配はりませんでした。

やがて部活動も終わり、6月から夜間部に合流してからはただただ課題をこなすことに一生懸命でした。実技の対策だけでなく推薦入試のための対策も親身に指導していただけたのが本当に嬉しかったです。私が合格することができたのは、チャレンジするチャンスをくれた家族と切磋琢磨し合える友達、憧れる先輩方、そしてふなびの先生方が周りにいるという恵まれた環境があつたからだと思います。

浅木 春香 [千葉県立 幕張総合高校]

入試再現作品 デザインプレゼンテーション



[土日受験部] 先端芸術・映像科

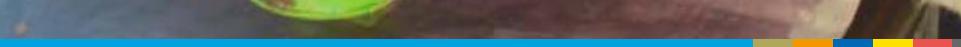
東京藝術大学先端芸術表現科をはじめとして、武蔵野美術大学映像学科等の映像／アニメーション系の入試実技に対応した実習を行います。小論文等文章実技の対策も可能です。

土日受験部	月	火	水	木	金	土	日
実技 [14:00~20:30]					●		
[9:30~16:30]						●	
選択学科 [14:00~20:10]					○		

高校生・高校卒業生対象

※土・日両日(週2日設定)または土・日選択(週1日設定)

※選択学科(土)+実技授業(日)も可



● 様々なメディアにアートやデザインが必要とされる時代

社会が求める人材も多様化・複雑化しています。各大学もその要求に応じて、学生が多彩な方向性を描けるようなカリキュラムに変化しつつあります。そうした現状を踏まえ、土日受験部として受講生一人一人の希望する進路をより細かくバックアップするための「先端芸術・映像科」です。必ずしも実技の技術力だけが評価の対象ではありません。豊かな発想力が何よりも重要です。

国公立大

東京藝術大学 先端芸術表現科

私立美術系

武蔵野美術大学 映像学科／芸術文化学科

多摩美術大学 環境デザイン学科

東京造形大学 アニメーション専攻

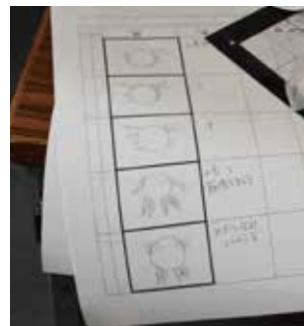
女子美術大学 メディアアート学科

日本大学 芸術学部映画専攻

東京工芸大学 映像学科／アニメーション学科



映像実習 制作風景



アニメーション 絵コンテ

■ デッサン基礎力はオールレンジの対策

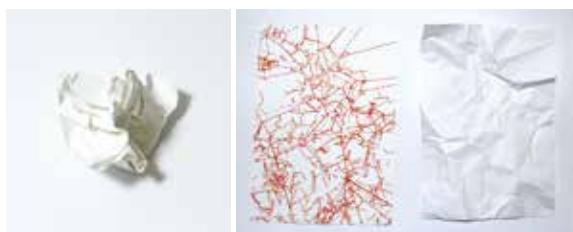
芸大先端芸術表現科の一次試験ではデッサンが選択でき、武蔵野美大映像科の試験も小論文の代わりに鉛筆デッサンが選択できます。また、共通実技試験でデッサンのみで受験できる大学も数多くありますので、デッサン基礎力をつけておくことは、まさに全方位的な対策となります。従って1学期は科のワクを越え、美術総合受験科・建築科と合同でデッサン力をつける授業を土曜日中心で行います。日曜は文章課題・感覚テスト対応等、特色ある実技で対応力を養います。

■ 一人一人の個別課題で推薦対策も安心

夏期講習会を経て、志望校が固まってきた2学期は大学別・入試内容別の対策に重心を置いていきます。ポートフォリオに提示する様々な制作を行ったり、各大学試験内容に合わせてコンクールを行うなど受験をリアルに想定したカリキュラムを数多くこなします。推薦入試やAO入試を考えている受験生は、残り2ヶ月程度の時間をフルに使い個別の対策を柔軟に行って入試に挑みます。

■ 現役合格のための集中カリキュラム

3学期は現役受験生が急激な伸びを見せる時期です。時間や内容を入試のフォーマットに当てはめていきます。入試直前講座では土日以外も追加できるので、連続集中で実技力を向上させます。前日に指摘されたことを当日に「カイゼン」し克服する、そのサイクルは2学期までの倍以上の速度で実行されるので多くの受講者が1年で結果を出す要因となっています。



先端芸術表現科 入試再現 ポートフォリオより抜粋

[東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 現役合格 武蔵野美術大学 映像学科 現役合格]



塚本 海至 [上海市立 上海中学高等部]

夏に高校を卒業し、日本に戻ってきた。普通に芸大を目指す学生より準備期間が短いという不安を抱えたまま、ふな美に通い始めた。私がフナビに通い始めたのと同じタイミングで、高校時代の友人たちが一斉に大学入学式の写真をSNSにアップしていた。出遅れた感を更に感じ、不安はますます大きくなった。友人のキャンバスライフの写真を横目に、不安を消すように、ひたすら作品制作と画力向上に力を入れた。作品やデッサンの講評で教師陣から冷静に改善点を教えてもらったのは大変頼りになった。中国式の堅物な私の脳味噌を先生たちが捏ねくり回してくれて、柔軟性のある考え方ができるようになった。フレキシブルな授業内容で、私たちの好きなように調整ができたのは大変助かった。おかげで映像科と先端の受験勉強が同時にできた。ふなびで学んだことはこれから制作でもずっと役立っていくことでしょう。ふなび×opowoiふなび万滑! Viva la ふなび! ふなび forever! わーい! ふなびたっのしー!!!



東京藝術大学 入試再現作品 一次素描

● 個別課題

既存のメディアに捕らわれない発想をしたい、人とは違う新しいことをしたい、そんな夢をカタチにするために密接な講師との連携で一人一人異なった課題を行っています。その結果として映像系以外にも芸術学科や彫刻科など様々な専攻にも対応が可能です。



東京藝術大学 先端芸術表現科 入試再現 ポートフォリオ(一部抜粋)



● イメージデッサン課題

主に武蔵野美術大学映像学科感覚テストとして出題される課題です。鉛筆・色鉛筆という比較的簡単な画材で取り組むことができますが、出題テーマに合わせた自らの発想を文章も合わせて表現することが他科との大きな違いです。

平面作品としての完成度よりも、時間軸を持った映像作品を想起させるような内容になっていることが重要ですので、日頃から身の回りの事物に目を向け、テーマに即応できるような発想力の抽斗を数多く持つておくことが大切です。

[武蔵野美術大学 映像学科 現役合格 同 デザイン情報学科]

東京造形大学 デザイン学科 グラフィックデザイン専攻 同 メディアデザイン専攻 女子美術大学 アート・デザイン表現学科 メディア専攻領域 現役合格]



高二の夏期講習からふな美に通い始めました。私の通っていた高校には美大を目指して高一の時からデッサン等をするコースがありますが、私は普通科でした。人より遅いスタートで、基礎科の他の人達も私とは比較にならない程上手で、通い始めた頃は劣等感の塊でした。しかし、そんな私も基礎科の先生方は細かく指導して下さいました。また、基礎科での経験があったから、その後に進んだ時も頑張れたのだと思います。高三で先端芸術・映像科に行ってきたは、受験の要でもある感覚テストの課題を中心にやりました。他の科とは違い、絵だけではなく文章力も必要なので、慣れるまで時間がかかりました。受験直前はふな美で課題をやり、家ではその日描いた作品のリメイクや、過去問題を中心にやりました。先端・映像での生活は充実していた反面、辛いこともありました。その度に先生方が励まして下さいました。合格出来て本当に嬉しいです。ありがとうございました。

渡辺 彩乃 [私立 国府台女子学院高校]

武蔵野美術大学 入試再現作品 感覚テスト



[土日受験部] 建築科

過去9年間連続
東京芸術大学 建築科
計11名合格!

東京藝術大学建築科をはじめ、私立美術大学建築系から千葉大学工学部、早稲田大学創造理工学部等、理工系建築学科の実技までポイントを押された対応が可能です。

土日受験部	月	火	水	木	金	土	日
実技 [14:00~20:30]					●		
[9:30~16:30]						●	
選択学科 [14:00~20:10]					○		

高校生・高校卒業生対象

※土・日両日(週2日設定)または土・日選択(週1日設定)

※選択学科(土)+実技授業(日)も可

■ 主な志望校・志望学科で科を選ぼう

【芸大美大系】国公立大

東京藝術大学 建築科
筑波大学 芸術専門学群 建築デザイン領域

【芸大美大系】私立大学

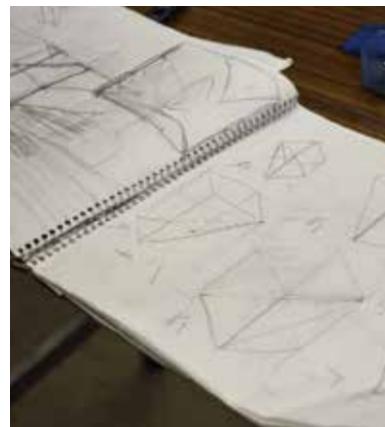
武蔵野美術大学 建築学科
多摩美術大学 環境デザイン学科
東京造形大学 室内建築専攻
東北芸術 工科大学 デザイン工学部

【工学部系】国公立大

千葉大学 工学部 建築学科
宇都宮大学 地域デザイン科学部
京都工芸繊維大学 造形科学域

【工学部系】私立大学

早稲田大学 創造理工学部
千葉工業大学 創造工学部



■ 学科と実技のバランス伝授

建築系学科の入試では、工学系だけではなく、芸大・美術系大学でも十分な学科の力が要求されます。学科の勉強だけ、あるいは実技の勉強がメインの他科の入試とは違い実技と学科を両立させて受験準備を進める必要があります。本科では、個別の面談を通してそのためのノウハウを伝授します。

■ 少人数・個別指導による高い合格率

都内大手に引けを取らない合格結果は、徹底した少人数制・個別指導の成せる技です。ただし、比較対象人数が少ないためデッサン力の向上等、基礎力の養成には一定の人数の中で切磋琢磨する環境も必要です。1学期は土曜日を中心に絵画科、デザイン科等とタイアップして、基礎デッサン力の向上に努めます。日曜日は空間構成など建築科ならではの課題を多く実習していきます。

■ 2学期は、綿密な志望校対策で効率よく実習

2学期は1学期で養ったデッサン力を各志望校別の課題に活かせるよう、個別の志望校対策を綿密に行っていきます。センター模試等、学科の対策も重要時期なので、両立ができるよう担当講師と受講日程の調整をしながら効率良く実習します。各大学のAO入試や推薦入試を受ける場合は、最重要の対策期間となります。

■ 実技・学科両試験に向けて最終調整

3学期はセンター試験終了後に授業を開始し、各大学の過去問題等を実習しながら試験時間の対応力をつけていきます。センター試験以外に独自の学科試験を課す工学部系受験者は、学科と実技のバランスを考えながら実技対策を行います。芸大美大系受験者は入試直前講座にて集中的に実技の最終調整を行って試験に臨みます。実際の試験時間に合わせ、3学期土曜の授業時間を午前開始とさせて頂きますのでご了承ください。



【東京藝術大学 建築科 現役合格 武蔵野美術大学 建築学科 東北芸術工科大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 現役合格】――

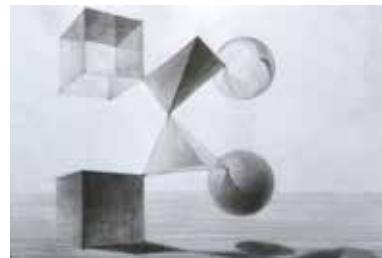


ふなびに来ることが毎回楽しみでした。芸術も建築も何を知らない状態でふなびへ飛び込んだ私に、先生方はゆっくりとそれらの面白さと奥深さを気づかせてくれました。授業の度に新しい発見があり、それと同時に何度も壁にぶつかって悩みました。でもそれが何よりも楽しかった…。

創作のほうにのめり込んで学科とのバランスをとることが難しくなったこともありました。先生方が的確で肯定的なアドバイスをくださったおかげで、受験当日まで自信と希望を持ち続けることができました。優しい雰囲気の中で自由に創作できるふなびと大好きな仲間と家族、先生方には尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです!本当にありがとうございました!

仁科 緑 [私立 昭和学院秀英高校]

東京芸術大学 入試再現作品 空間構成



● 建築系で出題される実技試験

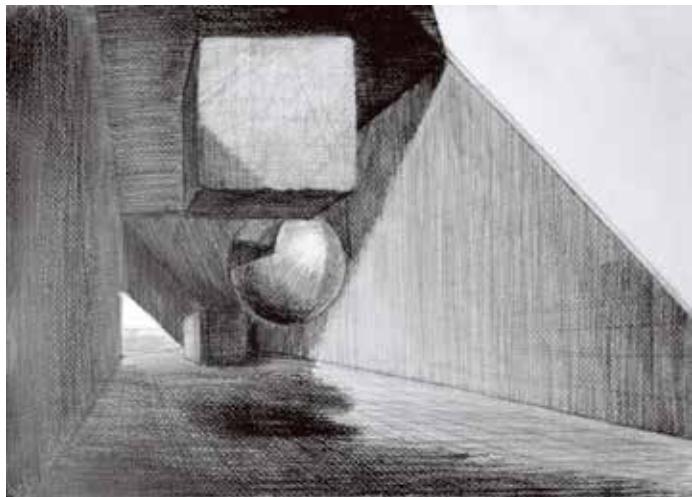


■ 静物デッサン(建築系モチーフ)

建築科で身につけるべき観察力と表現力、すべての基礎となります。建築科では椅子などの家具をはじめとする工業製品や各種素材をモチーフにして、特にパース、距離感といった空間的な表現に重点をおいてデッサンの基礎を習得します。

■ 建築写生

鉛筆や透明水彩絵具で、実際に建物の建っている現地におもむき建築物を写生する課題です。スケールの大きな空間の把握、構造や形態などの建築物に対する観察力だけでなく現地でしか感じることのできない空気感など様々な要素を計画的に表現することが重要です。

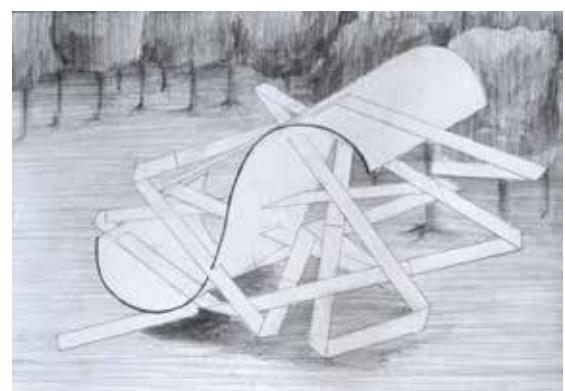
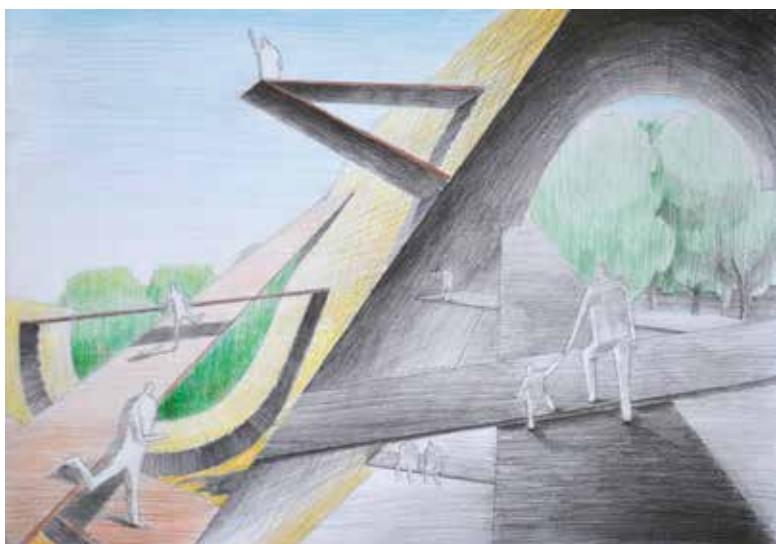


■ 空間構成

空間構成とは、頭の中に描いた自らがデザインする空間をデッサンする課題です。物を見ながらデッサンする静物デッサンと違い、頭のなかで想像した風景を頭の中で見ながらデッサンをしなければならないため、限りなくリアルに空間をイメージし、それを絵として表現しなければならない高度な表現です。静物デッサンや日々の生活でいかに研ぎ澄ました観察をしているかも重要な要素です。

■ 総合表現

与えられたテーマ(素材、文章、図、文献など様々)から自分なりに想像した空間を、ドローイングや立体、文章を駆使して表現する課題です。独創的な空間であることだけではなく、与えられたテーマに対しての理解力・洞察力、空間を表現する描写力、作品の制作意図を的確に伝えるための説明する能力など総合的な表現力を必要とします。



総合表現（全体像）



総合表現（立体エスキース）

基礎科〔週1日～5日制〕 BASIC SECTION

「好き」から始めよう。

将来美術方面の進路を希望している高校1・2年生を対象にしています。

東京芸術大学・武蔵野美術大学・多摩美術大学など実技レベルの高い大学に現役合格を目指すのであれば、

一日でも早くスタートするのが望ましいと言えます。本学院の芸大合格者・私大現役合格者の大半が基礎科出身であることからも、早めに基礎から取り組むことが合格のチャンスを広げてくれます。近年の入試の多様化に対応すべく、

各分野の経験豊富な講師が基礎から優しく丁寧に指導しますので、未経験の人でも安心して始めることができます。



● 基礎科から始めるメリット

メリット1 まずは道具の使い方から

鉛筆の削り方から実技に必要な道具について優しく丁寧に教えてもらいます。各科の講師がいるので様々な画材について専門的なアドバイスを受けられます。(木炭・鉛筆・アクリル絵具・油彩・透明水彩など)

メリット2 制作する姿勢が身につく

日々の制作を通して観察力や発想力を養い、それらを形にする力を習得できます。これから美術を続けていく上で大切な姿勢を身につけることができます。

メリット3 受験生になる前にいろいろな経験をすることで自分の方向性が見つかる

将来受験する大学や各専攻科、学科などについての情報を早めに知ることができます。受験科にはデザイン・工芸、油画、日本画などいろいろな科があります。それぞれ使う画材や実技内容が異なるので、基礎科でいろいろ経験することで自分の適正が見極められます。

メリット4 同じ目標を持った友達ができる

上達するには一緒に勉強する仲間の存在も重要です。学校の友達とは違う「美術」という共通の目標を持った友達ができ、互いに切磋琢磨しながら成長できます。

● 特別な授業と行事

■ 基礎科コンクール(学期末ごと)

基礎科の全クラス合同でコンクールを行います。各学期末ごとに行うので、お互いに高め合うきっかけになるでしょう。

■ 美術系進学相談会(二学期)

芸大・美大の入試に関する「実技」と「学科」について、各科講師が最新のデータをもとに出題傾向や配点、合格点などを詳細に説明します。

■ 春期 ■ 夏期 ■ 冬期講習会

普段の授業とは違い、ある期間集中して実技を経験することで、より基礎的な力を高めると同時に描く楽しさや作る楽しさを実感できます。

● 志望校合格までの流れ 描きたくなったらステップアップ!



●自分のペースでクラスを選ぼう！

将来受験するどの美術専攻分野においても「基礎がしっかりとしている」ことが望まれます。高校の授業や部活動のある高校1・2年生は、無理のないクラスから始め、ステップアップしながら実技力をつけていきましょう。実技週1日～5日まで、バリエーションに富んだクラス設定から選択できます。

基礎S受験クラス [実技週5日制] 「実技経験をいかして受験準備をする」という人に

高校2年生以上の実技経験者で、油画・日本画・デザイン・工芸の受験選択がすでに決定している人は、一歩早く夜間部受験各科の月～金の授業に参加することが出来るようになりました。受験生と一緒に実技を行うことで、次年度現役合格へ向けた「飛び級」実習が可能です。途中でステップアップする場合は、まず各期講習会等で受験各科の実技に参加してみるとよいでしょう。

※受験生授業運動の都合上、3学期1月以降は土曜も授業を行い、週6日授業となりますのでご注意下さい。



基礎A強化クラス [実技週4日制] 「自分の進路は美術に決めた」という人に

デッサンや描画を中心に週4日間実習する中で、デッサン力、構成力、色彩による表現力や感性を磨き上げます。また強化クラスは制作時間にゆとりがあるので、立体的な課題や版画、コラージュなど様々な体験の中から自己の専攻を模索していきます。すでに専攻する科を決めている人も各分野の講師による専門的な実習が受けられます。



基礎B総合クラス [実技週3日制] 「高校生活とのバランス」を重視する人に

高校生活とバランスよく両立させたい人向けのコースです。デッサンから始め、着彩など様々な課題を幅広く学び、着実に力につくことができます。



基礎C土日強化クラス [週2日制] 「限られた時間で効率よく」という人に

週末はフルに描きたいという人向けの強化コースです。土日連続で制作できるので一枚の作品を集中して仕上げる事ができ、デッサンはもちろん構成課題などにも幅広く対応していきます。



基礎D土曜クラス 基礎E日曜クラス [実技週1日制] 「まずは始める!」という人に

遠隔地居住の人や、学校の授業・部活等で平日の基礎科夜間部に通えない人をはじめ、これから美術を始めようと思っている高校1年生にも最適なクラスです。原則として D(土曜) E(日曜)いずれかの固定クラスを選択してください。

基礎F通信+クラス 「定期的に通えない」という人に

部活や習い事などで通えない人、あるいはA~Eクラスのいずれの日程もあわないという皆さんに向けて新設するクラスです。普段は通信基礎クラスとして1~2課題／月の実習を家庭で行いながら、学院に来られる日は描いたものを持参して個別講評を受けることができます。講評後他クラス内で一緒に実習することも可能です。定期的に通えるようになったら各クラスにステップアップしましょう。

基礎選択学科 [月曜もしくは金曜・選択制] 高1・2専用の学科クラス

現役での合格をめざす基礎科の皆さんをサポートする高1・2専用の学科クラスです。各クラスの実技授業と重ならない月曜夜間もしくは金曜夜間の選択制です。学科に不安のある人は入学時に実技とセットでお申込みください。※テスト結果等により、曜日の指定を行う場合がありますのでご了承ください。

※実技授業に加え、学科授業料が発生いたします。途中追加も可能です。

基礎科 - クラス別日程表 -							
	月	火	水	木	金	土	日
S受験クラス 実技のみ (月・火・水・木・金) [17:15～20:15]	●	●	●	●	●	○	
A強化クラス (火・水・木・金) [17:30～20:30]		●	●	●	●		
B総合クラス (火・木・土) [17:30～20:30]	●			●	●	●	
C土日強化クラス (土) [14:00～20:30] (日) [9:30～16:30]					●	●	●
D土曜クラス (土) [14:00～20:30]						●	
E日曜クラス (日) [9:30～16:30]							●
F通信+クラス 月に1～2課題の通信教育、+来られる日に講評・実技							
	基礎選択学科 (月・金) [17:30～20:30]						

デッサン

石膏像、静物、人物、構成、イメージなど様々なデッサンを木炭や鉛筆を使って描き、基礎的な描写力を養います。

**色彩表現**

静物、人物、平面構成などの課題を透明水彩、アクリル、油彩などの素材を使って色彩について学び表現力を身につけます。

立体表現

粘土による模刻や紙等を使って立体的な感覚を養います。

**クロッキー**

人物、兎、鶏などの動くモチーフにもチャレンジします。

コラージュ

様々な素材を扱うことで応用力を身につけます。

講評

完成した作品をならべて講師に批評やアドバイスをし
てもらう時間です。また他の人の作品と自分の作品を
比べることで、客観的な目を養うと同時に他の人の
良いところが吸収できます。

**個別面接**

定期的に行います。個人個人の成長に応じて的確な
アドバイスがもらえ、制作中の何気ない疑問や質問にも
講師が気軽に答えてくれます。また専攻する科の選択
などで迷っている人には大きな手助けになるでしょう。

学科

年に3回の定期テストを行います。実際の美大入試の
学科レベルを知ることができます。希望者は毎週月曜日もしくは金曜日の基礎選択学科を追加受講するこ
とができます。(実技のみのクラスから変更の場合は追加
学費が必要となります。)

[東京藝術大学 絵画科 油画専攻 合格 多摩美術大学 絵画学科 油画専攻 東京造形大学 美術学科 絵画専攻 合格]

奥山 鼓太郎 [千葉県立 柏の葉高校]

ふな美での二年半は本当に楽しくて、そして十九年の人生で間違いなく一番濃い時間と経験でした。高二の夏に美大受験を知って、九月に基礎科に来てからの六ヶ月と、高三の夜間部一年間はあっという間でした。夜間部は毎日高校二つに通っているみたいに楽しくて、この進路を選んで良かったと思いながら、少しづつ上達を実感して受験を迎えるました。浪人を決めたのは藝大の二次試験を受けられなかった悔しさからです。でも、今振り返れば、あの悔しさだけではここまで来れなかっただと思います。昼間部の一年はとにかく濃くて、中でも特に覚えている事があります。夏頃、うまくいかなくて、生まれて初めて絵を描く事がつらいと感じました。でもそれは絵の事を初めてそれだけ真剣に考えた事の裏返しだと今は思うし、先生に支えられて更に絵の楽しさを知る事ができました。大学生も、更にその後も、絵を楽しみ続けます。ありがとうございました。

東京藝術大学 絵画科 油画専攻 入試再現作品 絵画表現

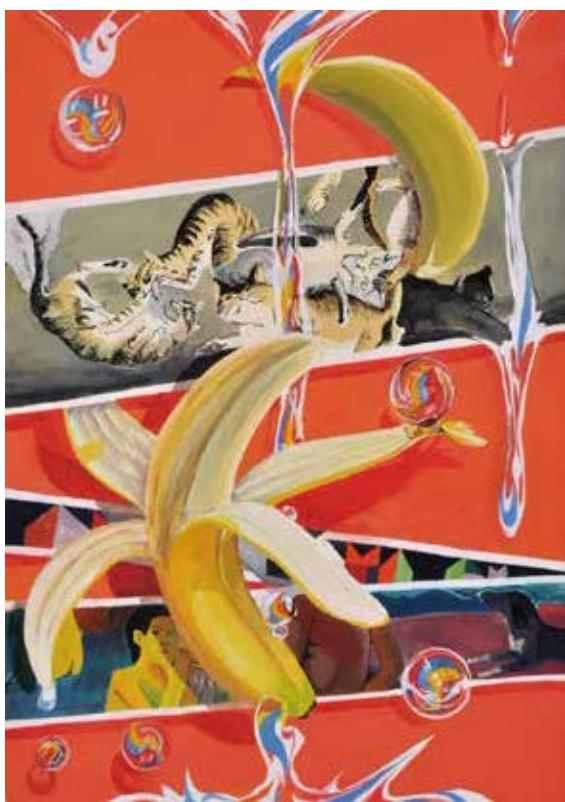




石膏デッサン [鉛筆 木炭紙大画用紙]



静物着彩 [アクリル絵具 木炭紙大画用紙]



構成着彩 [アクリル絵具 B3画用紙]



構成デッサン [鉛筆 B3画用紙]



人物デッサン [鉛筆 木炭紙大画用紙]

[多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 現役合格 同 統合デザイン学科 現役合格]

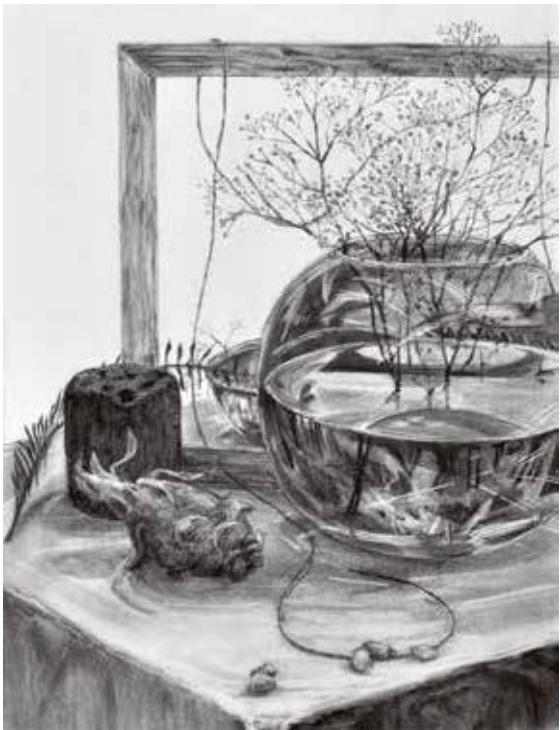


私がふな美に通い始めたのは、高二の夏期講習からでした。基礎科ではいろいろな課題に取り組みながら、自分のやりたいことを見つけることができました。そして高三の春からデザイン科へ進むことになりました。初めのうちは課題をやることが楽しかったけれど、だんだんと他の人たちが上達しているのが目に入ると「自分は何も成長していないのではないか」と自信を持てなくなってしまいました。そんな時に折れそうな心を支え、励ましてくれたのがふな美の先生方でした。先生方の丁寧な指導のおかげで、失敗をくり返しながらも最後まで諦めずに進むことができたのだと思います。辛いこともたくさんあったけれど、素敵な先生、友人に支えられて、たくさんのこと들을ふな美で学ぶことができました。本当にありがとうございました。

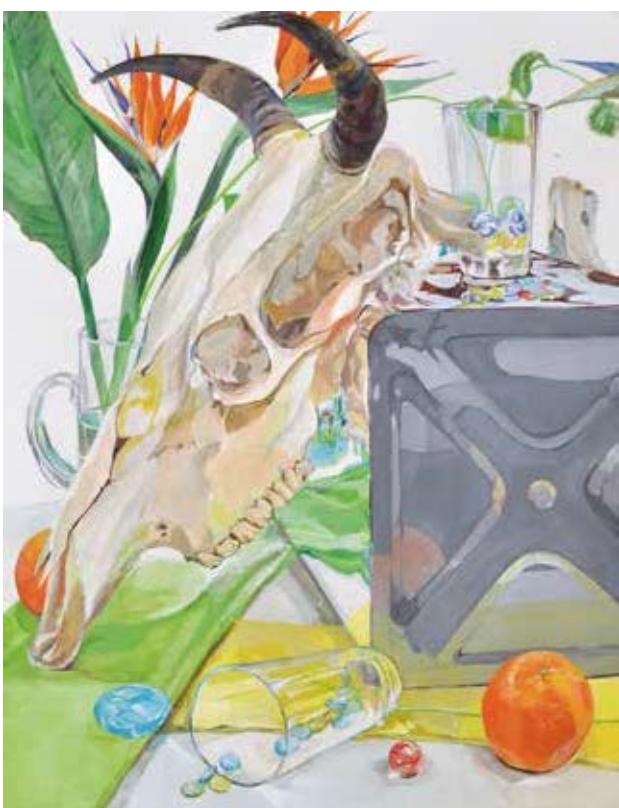
竹中 理穂子 [千葉県立 幕張総合高校]



多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 入試再現作品 色彩構成



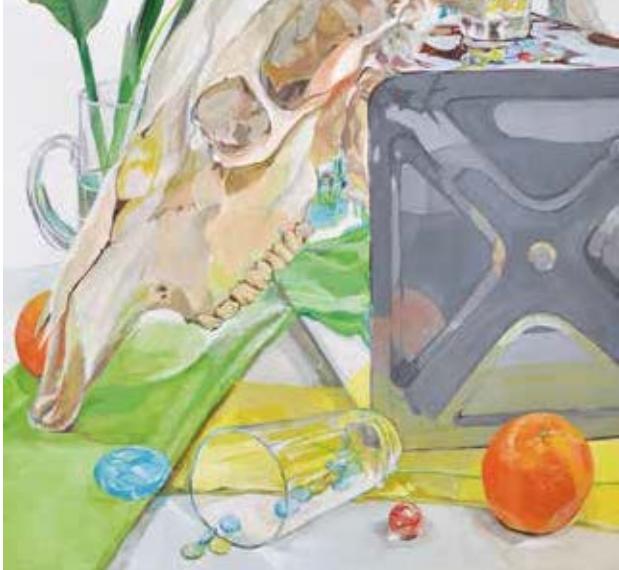
静物デッサン [木炭 木炭紙]



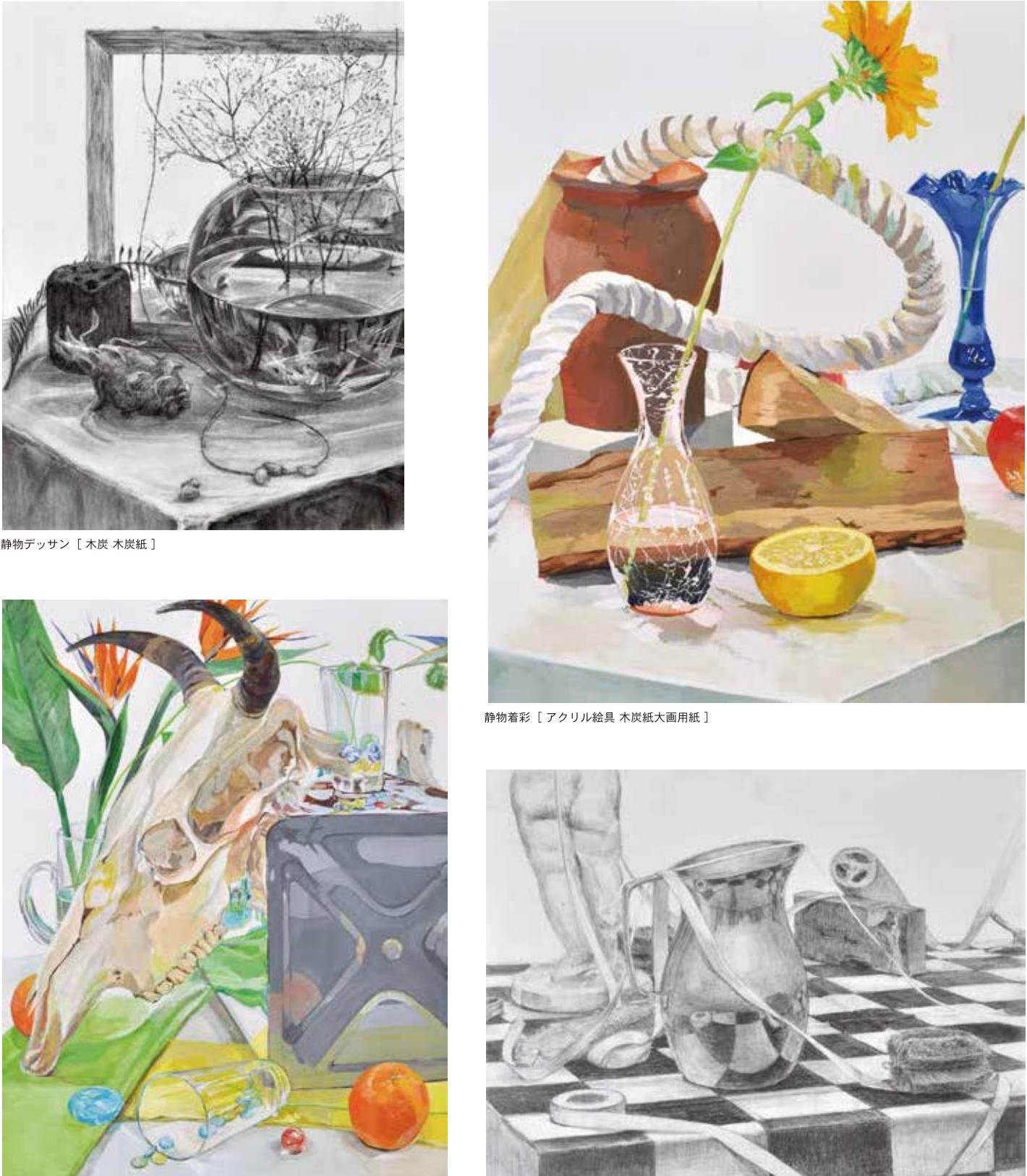
静物着彩 [アクリル絵具 木炭紙大画用紙]



静物着彩 [アクリル絵具 木炭紙大画用紙]



静物着彩 [アクリル絵具 木炭紙大画用紙]



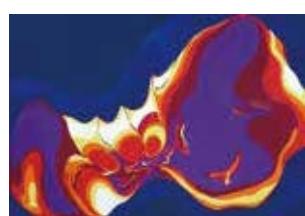
静物デッサン [鉛筆 木炭紙大画用紙]

[武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 現役合格 同 デザイン情報学科 多摩美術大学 統合デザイン学科 現役合格]



私は高校二年の十一月、基礎科に入学しました。周りの人の作品はどれもレベルが高く、鉛筆もまともに削れなかった私の作品は、かなりひどいものでした。デザイン・工芸科に進学した後も、先輩方や同年代の子達になかなか追いつけず、焦りと不安がたまっていた時期がありました。しかし、そんな私に一つ一つ丁寧にご指導して下さった先生方、時にはお互いを評価し合い、時にはふざけあったりする仲間がそばにいてくれたからこそ、集中して取り組めて合格につなげることができたんだと思います。これからもふな美で困惑しながらも得た知識と経験を大切にし、自分が伝えたい事を表現する力を学んでいきたいと思います。一年半、大変お世話になりました。

江田 さくら [千葉県立 国分高校]



武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 入試再現作品 デザイン



鉛筆デッサン



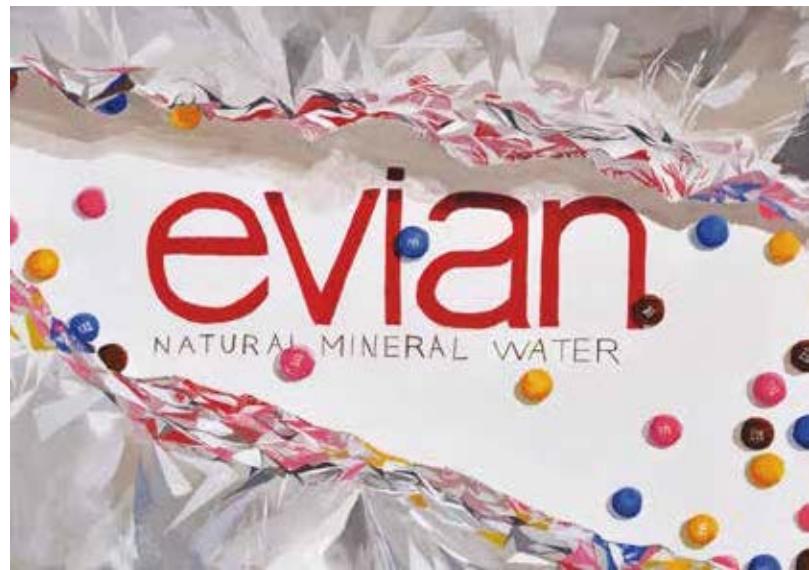
静物着彩 [油彩 F10号キャンバス]



石膏デッサン [鉛筆 木炭紙大画用紙]



構成デッサン [鉛筆 B3画用紙]



構成着彩 [アクリル絵具 B3画用紙]

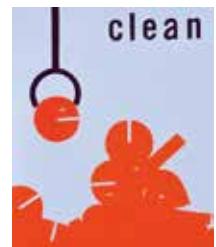
[多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 現役合格]

同 生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻 武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 東京造形大学 デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻 現役合格]



高校二年の春から何度か体験入学に参加し、秋から本格的にふな美に通い始めました。基礎科に入った時にデッサン未経験だった私は、周囲のレベルの高さに自信を無くし、初めて挫折のようなものを感じることとなりましたが、先生はデッサンを基礎から丁寧に教えてくださいました。また、私は遠隔地から通っていたので、高三になる時に特待生試験を受けました。授業料が一部免除していただけることになり、お陰様でふな美生活の後半は、より熱く深く制作に取り組むことができました。今、志望校に合格し、新たなスタートラインにたてたのは、このふな美で培った経験があったからこそだと思っています。今までありがとうございました。

高嶋 香奈 [千葉県立 佐原白楊高校]



多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 入試再現作品 色彩構成



鉛筆デッサン

基礎科〔中学生〕 BASIC JUNIOR SECTION

絵を描くのが好きな中学生、もっと描いて学んでみよう！

好きな科目や得意な科目で自信をつけることはとても大切なことです。

学校での美術の時間は限られているけれど、

もっと描きたい学びたいという中学生の皆さんに向けて「基礎科中学生コース」を開設しました。

楽しく絵を描くことから始めて、美術・デザインコースのある高校進学も視野に入れ、

充実した環境で力を養いましょう！

● 基礎科中学生コースの授業とやれること



中学生受験Gクラス [週1日制 / 毎週 日曜 9:30 ~ 15:00]

主に美術・デザインの専門コースを設置している公立高校(松戸・取手松陽等)や私立高校(女子美大付属・国府台女子学院・市原中央等)を受験するための実技クラスです。入試時期に向けて課題をしづらこんでいくとともに、面接対応なども行ないます。いずれの高校も学力試験も併せての準備が必要なため、学習塾などと両立しやすい日曜日に設定しております。

主な対象高校

- 千葉県立松戸高校(芸術科)
- 国府台女子学院高校(美術デザイン)
- 取手松陽高等学校(美術科)
- 市原中央高校(芸術コース美術)
- 女子美術大学付属高等学校
- 東京学館船橋高等学校(美術工芸科)
- 潤徳女子高等学校(芸術)
- トキワ松学園高等学校(美術)
- 東京都立総合芸術高等学校(美術科)
- 東京都立つばさ総合高等学校(美術・デザイン)



中学生基礎Hクラス [週1日制 / 毎週 日曜 9:30 ~ 12:30]

小学生は絵画教室、高校生は美大受験と選択肢がある中で、中学生対応の美術教室は数多くないのが実情でした。学校との両立が必須な中学生の状況を踏まえた上で、少しでも自信を持って「好きなこと」の勉強ができるよう設置いたしました。まずは楽しんで絵を描くことを目標にはじめてみましょう！

■ まずは基本のデッサンから！

中学校の美術では1~2時間程度の実習がほとんどですが、少し長めに描いて「集中する」ことを学んでいきます。実物に似てくるようになると、時間を忘れて描くことが出来るようになるでしょう。試験は鉛筆デッサンという学校も少なくありませんが、あえて木炭デッサンから始めてみましょう。絵を描くのに色々な素材があり、ちょっとした手加減で雰囲気が変わるといった醍醐味を体感しましょう！

■ 絵の具を使って静物着彩

デッサンをしっかり学ぶと、モノの形や質感が捉えられるようになります。さあ、それではそこに様々な色をのせて描いて見ましょう。買った絵の具が24色セットでも、色を混ぜたり、水で薄めたりすることで何色もの表現が出来るはず。いろいろな発見があるので楽しいところです。



静物着彩 [油彩 F10号キャンバス]



静物デッサン [鉛筆 B3画用紙]



静物着彩 [アクリル絵具 B3画用紙]

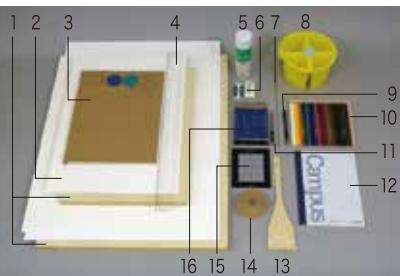


静物デッサン [鉛筆 B3画用紙]

使用画材一覧

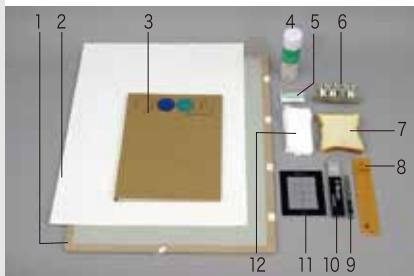
各科で使用する基本的な画材道具です。
※科、カリキュラム内容によって使用する物が異なる場合があります。

鉛筆デッサン用具



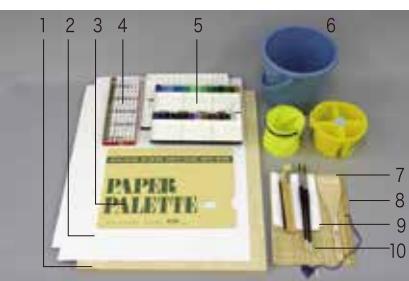
1. パネル(木炭紙大・B2・B3・P20)
2. 紙(画用紙・白象紙)
3. クロッキーブック
4. 直定規
5. フキサチーフ
6. 消し具・練り消しゴム
・プラスティック消しゴム
7. はかり棒
8. バケツ(水張り用)
9. シャーペンシル
10. 色鉛筆
11. カッター
12. ノート
13. 刷毛(水張り用)
14. 水張りテープ
15. Dスケール
16. 鉛筆(6H~6B)

木炭デッサン用具



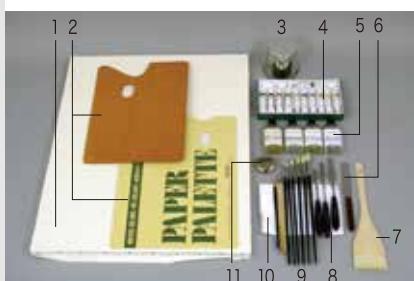
1. カルトン(木炭紙大)
2. 木炭紙MBM
3. クロッキーブック
4. フキサチーフ
5. 練り消しゴム
6. 目玉クリップ
7. 消しパン(食パン)
8. 芯抜き
9. カッター
10. 木炭
11. Dスケール
12. ガーゼ

着彩用具



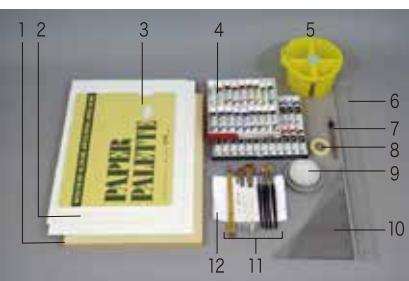
1. パネル(B2・B3・P20)
2. 紙(画用紙・白象紙)
3. 紙パレット
4. 透明水彩絵具(30色以上)
5. 金属製パレット
6. バケツ
7. 刷毛
8. 筆巻き
9. 雑巾
10. 筆
(則妙・面相・彩色・平筆等)

油彩用具



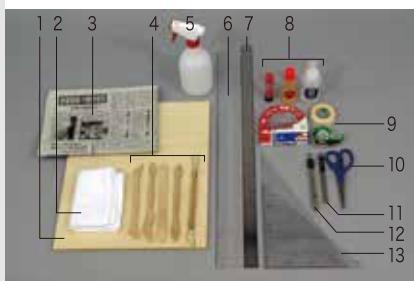
1. キャンバス(F15号)
2. パレット(紙製・木製)
3. 筆洗バケツ
4. 油絵具・メディウム
5. 溶き油
・テレピン・リンシード
・シッカチーフ
・ペイントイングオイル他
6. パレットナイフ
7. 刷毛
8. ペイントイングナイフ
9. 筆
10. 雑巾・ウエス
11. 油壺

平面構成用具



1. パネル(木炭紙大・B3)
2. 画用紙
3. 紙パレット
4. 絵具
(アクリルガッシュ・リキテックス)
5. バケツ
6. 直定規(60cm)
7. コンパス
8. マスキングテープ
9. 絵皿
10. 三角定規
11. 筆
(則妙・面相・彩色・平筆等)
12. 雑巾

立体構成用具



- ※ ○=粘土用 ◎=紙・素材用
1. 粘土板○
 2. 雑巾○
 3. 新聞紙○
 4. 粘土ヘラ○
 5. 霧吹き○
 6. 直定規○○
 7. 金尺(60cm)○○
 8. のり○
・液状のり
・スチレンのり
 9. テープ○
・両面テープ
・セロハンテープ
・マスキングテープ
 10. はさみ○
 11. カッター○○
 12. コンパス○
 13. 三角定規○○

画材セット販売のご案内

これから実技を始められる方のために、着彩用具セット(アクリル・水彩・油彩)を販売しています。どうぞご利用下さい。
※セット内容は変更する場合もあります。詳しくは当学院までお問い合わせ下さい。



初めてデッサンセット

- クロッキーブック
フキサチーフ
練り消しゴム
はかり棒
カッター
ガーゼ
- Dスケール
鉛筆(6H~6B)
木炭
芯抜き
目玉クリップ



初めてのアクリルセット

- 紙パレット
絵具(リキテックス)
筆(則妙・面相・彩色・平筆等)



初めての水彩セット

- 紙パレット
透明水彩絵具
筆(則妙・面相・彩色・平筆等)



初めての油彩セット

- 紙パレット
油彩絵具
筆(丸筆・平筆等)
ペイントイングナイフ
- 筆洗油
絵皿
オイル各種

学科

高校3年生以上 受験生対象
S学科(土) 14:00~20:10

高校1・2年生 基礎科生対象
M学科(月)/F学科(金) 17:30~20:30 [選択制]

英語・国語の学習で美大合格をより確実にしよう！

「絵が描ければ芸大・美大に合格できる」という時代がありました。今は、英語・国語をはじめとした学科の成績が大きく合否に関わるようになりました。ナビでは英語・国語の2科目を徹底的にサポート。今は苦手だ、という生徒さんでも、1年間しっかりやれば、必ず受験に有利になります。一緒にがんばりましょう！

昼間部・夜間部受験各科学費には選択実技・選択学科が含まれていますので入学時に選択登録をして下さい(変更は可)。基礎選択学科受講希望の方は、実技授業と重ならない日程で追加申し込み・学費納入を行ってください。

○ 芸大・美大入試の重要なポイントは実技と学科の実習バランス！

志望校や専攻の違いによって学科の重要度が異なるところが芸大・美大入試の難しいところです。まずは志望校・専攻の入試データを確認し、自分の学力と実技力の現在位置を見極めるところから始めましょう。計画性を持って取り組めば、必ず合格へ近づいていくはずです。年の後半に実技に集中するためには、前期から学科の基礎をしっかりとやっておくことが何よりも大切です。

■ レベル別指導 年6回(土日受験部及び基礎科は年2~3回)のテストで綿密に学力をチェックしながら、それぞれの学力レベルに合わせた授業を展開します。わからないまま「傾向と対策」を行っても実際の点数には結びつきません。担当講師が一人一人の状況を確認し、クラス分けや変更時期をアドバイスします。

月	火	水	木	金	土
9:00					
					14:00
					S1 14:00~15:20
16:00					S2 15:30~16:50
17:15					S3 17:20~18:40
17:30	M	夜間部実技授業	F		S4 18:50~20:10
20:15					20:15
20:30					

S1~S4: 土曜選択学科

土曜の午後/夜間に実技授業です。2クラスにレベル分けを行い、特に初心者の底上げと中級レベル維持を目標とします。授業は英語を中心に行い、現国の授業を合同で行なうことがあります。

M:基礎選択学科(月) F:基礎選択学科(金)

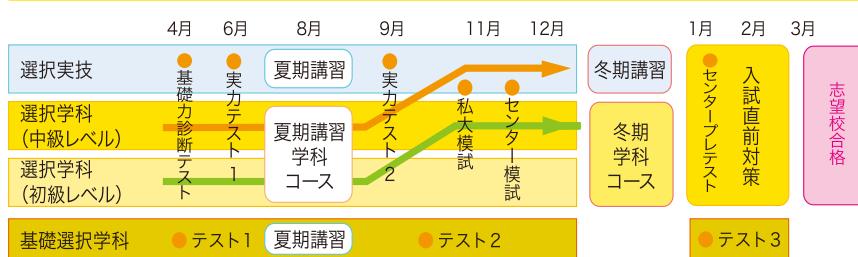
高校1・2年生 基礎科生対象の受験準備学科クラスです。英語を中心に授業を行います。M(月曜)かF(金曜)いずれかを選択登録してください。

昼間部	昼間部は原則として土曜選択実技かS学科のどちらかを選択してください(通常授業料に含む)。
夜間部 (受験生)	夜間部受験生は土曜選択実技/S学科のどちらかを選択してください。(通常授業料に含む)

土日受験部 S学科と日曜実技授業を組み合わせることが可能です。

基礎科 基礎科生は月曜のM学科か金曜のF学科を選択受講できます。(実技授業料以外に追加の費用が発生します。)

○ 一年間の授業進行/年6回のテスト結果で軌道修正

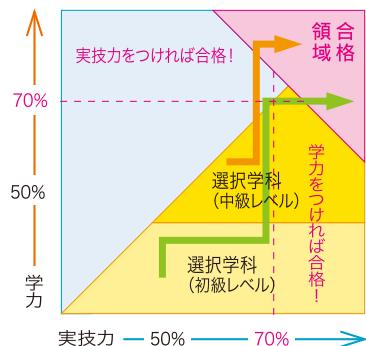


実技と学科の担当講師が志望校面接やテストの結果を踏まえ、選択受講(実技もしくは学科)についてアドバイスします。また、各テストの成績によって選択学科のクラス変更や、選択実技へのスイッチングも適切に指導します。実技と学科のバランスをしっかりと取って「合格領域」をめざしていきます。土曜選択学科は12月まで、基礎選択学科は3月までの授業となります。

○ 自分の力を確認してシナリオをつくる

学科の基礎力はあるが、7割とれるかは不安定。選択学科の中級レベルで1学期中に学科を固める。夏期講習会で「傾向と対策」を行い、実力テスト2で学力向上を確認した後は、選択実技に切り替えて実技と学科のバランスを調整し、高得点で合格領域をめざす。

実技も学科も両方不安な位置からスタート。週5日は実技を実習するので、土曜は選択学科の初級レベルからはじめる。実力テスト2で一定のレベルに達したら、選択学科のクラスをアップして入試まで学力をキープする。



通信教育課程

- 油画科コース
- 日本画科コース
- デザイン・工芸科コース
- 基礎科コース
- 土日絵画科コース
- 土日デザイン科コース
- 土建建築科コース
- 土日先端芸術・映像科コース

普段は学院に通えない人達に〈確かな力をつける〉通信教育です。

本学院の通信教育は芸大・私立美大など美術系大学の受験志望者を対象としています。

遠隔地の方や部活動等で普段通学できない人達に芸大・美大の合格を目指した学習が自宅でできるよう、

基礎的な課題から実践課題まで出題し、丁寧な添削指導を行います。

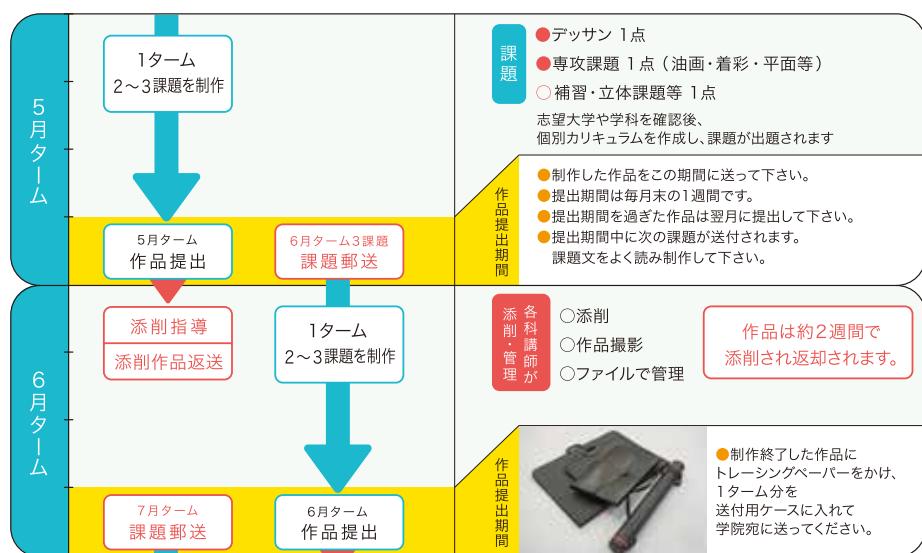
また、春期・夏期・冬期講習会や直前講習会での直接指導を受けることで、大幅な実力アップが期待できます。

なお、基礎科コースは高校1、2年生を対象とし、その他の科は次年度に受験する高校3年生以上を対象としています。

● 通信教育システム

基本的には出題された課題に対し作品を制作し、郵送された作品を添削指導をして返却する方法ですが、個人の志望大学や学科に対応するきめ細かい指導が必要ですので充分なコミュニケーションをとりながら、また試験までの時間を考慮した指導体制を整えます。

課題郵送 → 制作 → 作品提出 → 添削 → 返却



こんな人におススメです！

通信 + 1日通学

「運動部や吹奏楽部の練習で普段は定期的に通えないけれど一ヶ月に一度くらいなら絵を持って行ける。」という方は、ぜひ作品を持参して直接講評を受けましょう。文字では伝えにくいニュアンスも直接話すことでクリアになります。また、日程があれば在籍する科や他科の授業や講評見学も可能ですので、得ることの多い一日になることでしょう。

※直接講評を受ける場合は添削表記は行いませんので、メモやエスキース帳をお持ちください。

※直接講評は、在籍科授業を中心に1回30分～1時間程度になります。（進路指導相談含む）

※講評日日程は個々に調整いたしますので、希望日を事前にお知らせください。

● 2017年間スケジュール

※個々のカリキュラムにより、ひと月の課題数が変わることがあります。



入試直前講座

今年度受験生は入試直前講座を受講しましょう。科別のコースが設置されており、試験日に合わせて週単位で受講できます。[有料]

● 通信教育課程 設置コースの概要

コース	課題	概要
油絵科コース	デッサン (ドローイング) 油彩画	東京藝術大学、国公立大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学等の絵画科、油絵科の試験に対応します。あなたの個性や感性、志望大学に応じたカリキュラムを作成し、静物、人物、風景、構成等の課題を出題し描写力や表現力を磨きます。
日本画科コース	デッサン 着彩画	東京藝術大学、国公立大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、女子美術大学等の日本画科に対応します。日本画科は対象をよく観察して描くことを重点としています。物の配置や空間等に配慮してしっかりとした描写力をつけて下さい。石膏像、人物、静物等のモチーフを中心に鉛筆写生、着彩写生を主に出題することで自然で美しい表現力を身につけます。
デザイン ・工芸科コース	デッサン 平面構成 立体構成	東京藝術大学、国公立大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、日大、女子美術大学等のデザイン・工芸科の試験に対応します。はじめにデッサンや平面の基本をしっかり学習した上で芸大受験に必要なデッサン、平面、立体の課題を中心に出題します。私大系受験にはデッサン、モチーフ、イメージ等の平面構成や立体系空間系に即した課題で表現力を身につけます。
土日絵画科コース	デッサン 油彩画 着彩画	土日受験部各科の内容に対応して行います。志望校相談から個別の課題・担当を決めて対策をしますので、無駄のない実習が可能です。卓上デッサンをはじめ、イメージ課題や小論文など、比較的モチーフ費用(自分で準備する)が押さえられる内容も通進教育に向いていると言えます。
土日デザイン科コース	平面 / 立体構成 小論文 等	
土日建築科コース		
土日先端芸術・映像科コース		
基礎科コース	デッサン 着彩	東京藝術大学、国公立大学、私立美術大学の受験に必要な基礎力に対応します。石膏デッサン、静物デッサン、構成デッサンと色彩を使っての描写力や構成力をつけることを目的とし、様々な画材を体験します。
※学科特典		希望者には、本学院で行う1学期・2学期、6回の学力テスト問題が送付され、採点されます。

- 毎月ごとに課題が提出され、添削指導を行います。作品は多く制作されてもかまいませんが、添削数は3点までとします。●課題ごとに基本制作時間が明示されます。
- 作品の添削は到着後約2週間となります。●立体作品は写真で送付して頂きます。●平面・デッサン等の作品はケースに収めて送付してください。
- 送付された作品は撮影後返却いたします。●1学期は基礎課題が出され、応用課題・志望別課題は2学期以降を予定しています。
- 石膏像や人物を描く場合は高校の美術室など、実習可能な環境が必要となります。

● 課題制作の順序【制作環境／制作時間】

- 1 制作する環境を整えましょう。
モチーフを設定する台や机、イーゼル、椅子などを用意しましょう。
学校の美術室が使えれば最適です。制作時間は課題と一緒に出されます。
個人のペースを作って制作して下さい。
- 2 課題表を見て制作のねらいを定めて制作しましょう。
参考作品や資料も活用しましょう。
- 3 わからない点やうまくいかないこと等あれば、質問カードに記入して
送って下さい。また、電話・メールでの質問も受け付けます。
- 4 失敗作や未完成の作品でも必ず送って下さい。
制作を積み重ねることが大切です。

各期講習会、入試直前講座で
担当講師の直接指導を受けましょう。

講習会や入試直前講座はスクーリングの役割を果たしています。
アトリエの緊張感を味わったり、他の人の作品が見られる
貴重な機会ですので、積極的に参加しましょう。



作品添削例



● 講座に必要な画材及び諸道具

※課題内容により異なります。

油絵コース

- スケッチブック ●カルトン ●クリップ ●フィサチーフ ●消し具 ●木炭、鉛筆等素描用具一式
- 木炭紙(MBM) 木炭紙大画用紙 TMKポスター紙 ●油彩用具一式
- キャンバス (F15号・S12号・F20号) ※油絵具は24色以上、筆は15本以上が望ましい。

日本画コース

- デッサン用鉛筆 (6H～6B) ●練り消しゴム ●水彩絵具 (30～60色) ●パレット (金属製のもの)
- 筆 (即妙、彩色、面相、平筆 etc.) ●P20パネル・白象紙水張り
- 木炭紙大パネル・A2/木炭紙大画用紙画面錆止め●水張り用テープ (茶色)

デザイン・工芸科コース

- 画用紙を水張りした木炭紙大パネル (デッサン・着彩用) ●鉛筆 (6H～6B) ●練り消しゴム
- フィサチーフ ●ケント紙を水張りしたB3パネル (平面構成用) ●アクリル絵具 ●透明水彩絵具
- 彩色用具一式 (筆、パレット、筆洗器、etc.) ●定規類 ●コンパス ●粘土用べら ※アクリル絵具、透明水彩絵具は24色以上が望ましい。※立体構成で使用する各種素材は指定の物を購入すること。

基礎科 / 美術総合受験科 / 建築科 / 先端芸術・映像科 コース

- カルトン ●クリップ ●木炭 ●木炭紙 ●消し具 ●ガーゼ ●フィサチーフ ●クロッキーブック
- カッター ●鉛筆 (6 H～6 B) ●彩色用具一式 ●画用紙 (B3・木炭紙大) ●パネル (B3・木炭紙大)
- キャンバス (F10号・F15号)

※初めての方には「初めてのデッサンセット」の販売があります。

※着彩については、油彩・アクリル・透明水彩の中から好きな画材を選んでください。

デッサン道具同様、各着彩道具のセット販売もしていますのでご利用ください。

無料体験・公開イベント

ここからスタートしよう!

無料体験講習

はじめての実技と受験相談は無料で。

芸大・美大受験に興味のある高校生や中学生を対象とした講習です。簡単な実技授業と受験相談を無料で体験できます。画材用具は全て本学院で用意しますので、お気軽にご参加ください。同時に保護者対象の個別受験相談も行います。



用具説明

鉛筆の削り方や、木炭の芯抜き、はかり棒を使ってモチーフを観察する方法などを説明します。

制作

イーゼルの位置調整や、描き始めの構図の取り方などを巡回指導します。

講評会

描きあがった絵を並べて一人一人の作品にアドバイスしていくまく他の人の作品から学ぶことも沢山あります。

個別面接・第三者面談

美術系の進路について一人一人の志望を聞きながら説明します。保護者との第三者面談もできます。

一日体験講習

来て、見て、描いて始めよう！

■ デッサン講習・個別面談

日曜日や祝祭日を利用し、比較的長めの時間でもっとも基本的なデッサンを実習します。石膏デッサン・静物デッサンに加え、想定(イメージ)デッサンも選択することが出来ます。また、実技の途中、全員に個別面談を行ないます。(希望者は保護者と第三者面談もできます。)各期講習会や入学にむけて、「はじめの一歩」となる体験講習です。

■ 静物着彩・平面構成講習

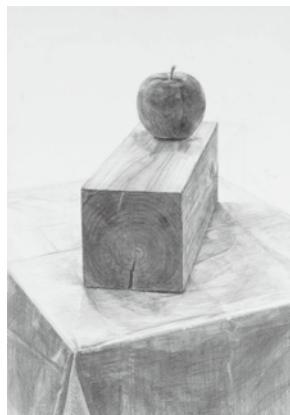
6月下旬の一日体験講習では、上記の各種デッサンに加え絵の具を使った実技も体験できます。透明水彩絵具・アクリル絵具・油絵の具から選択できますので、夏期講習前に必要な用具の使い方がわかります。もちろん用具は全て学院で用意いたしますので手ぶらで参加できます。

9:30	オリエンテーション
10:00	
11:00	制作(4時間)
12:00	休憩・昼食
13:00	各コースで設定された実技内容から選択
14:00	
15:00	講評
16:00	

※個人面接は制作中に行います。



石膏デッサン [木炭]



静物デッサン [鉛筆]



イメージ(想定)デッサン [鉛筆]



静物着彩 [水彩]

「美術予備校」に初めて行くのは勇気がいるかもしれません。
本学院では、様々な無料イベントを企画し、気軽に参加できるよう案内しています。
もちろん、通常授業の見学や相談も随時受け付けておりますので、是非一度学院まで来て下さい！

無料体験入学

事前に予約して一枚無料授業。

各科の通常授業を1日～1カリキュラム無料で受講できるシステムです。原則としてデッサン実技の日程をご案内いたします。体験講習日に予定があって参加できない人や、実技経験者に最適です。高校帰りに通学時間を確認することもできます。※デッサン用具は本学で準備します。

- ご希望の科と通学可能日を学院までご相談下さい。
- ↓
- 折り返し、各科カリキュラム（デッサン）と日程調整の上、
実際の体験入学科・期間を提案させて頂きます。
- ↓
- お返事を頂いた時点でエントリー完了。
あとは初日に来校して頂くだけです。

参加例_1 基礎科目曜クラスに1日参加

9:30	個別で用具説明・描き出し説明
10:00～12:30	制作・個別面談
12:30～13:30	休憩
13:30～15:30	制作
15:30～16:30	講評会もしくは個別講評

参加例_2 油画科夜間部に1週間参加

月～木	個別で用具説明	金
17:15～20:15	描き出し説明 ～制作・個別面談	17:15～19:00 19:00～20:15 ～制作 講評会

体験実技 Q & A

- Q 体験講習と体験入学の違いは？
- A 体験講習は体験専用のカリキュラムを土曜半日もしくは日曜・祝日の一日で行う形で、初心者が多く予め日程が決まっております。体験入学は通常の授業にご参加いただく形ですので、周りに経験者が多く、実際の授業の様子がよくわかります。
- Q 体験入学の場合、何日も通わなくてはいけないのでですか？
- A 1日だけでも参加いただけます。但し1日では、なかなか描き上げることが難しいため1枚仕上げる期間を通えるようにしました。また、描き上がらなかった場合でも個別に講評／アドバイスを行います。
- Q 体験入学後に途中入学する場合、体験講習と同等の入学金割引・講習会入会金免除割引は受けられるのですか？
- A もちろん同じ特典の対象となります。本学では説明会も含めイベントに参加された皆さまは全て同じ特典対象となります。

美術系進学相談会

内容豊富な説明会イベント！

芸大・美大入試について科別に詳しく説明するイベントです。科毎のアトリエをご覧頂き、詳しく説明を聞くことも可能です。実技内容の説明以外にも共通する学科試験についての合格ラインや、大学での実習、本学OBによる卒業後の仕事の話など、科毎の企画内容も豊富です。



芸大・美大入試オリエンテーション

毎年夏期講習会の時期に開催する公開講座です。本学院出身の芸大・美大合格者と学院講師や参加者との座談会形式で、大学の紹介・受験生活・実技や学科の入試に関する情報やデータ等をわかりやすく解説いたします。また、東京芸術大学をはじめ、各美術大学の協力で大学資料の配布も行います。



2017年度 芸大・美大合格実績

合格者総数

現役合格者

345名 **279名**



東京藝術大学 **9名** 現役合格 **4名**

油画専攻 **4名** 日本画専攻 **1名** 建築科 **1名**
先端芸術表現科 **1名** デザイン科 **2名**

武蔵野美術大学 **100名** 現役合格 **86名**

油絵・版画	22名	視覚伝達デザイン	7名
日本画	4名	工芸工業デザイン	13名
建築	10名	空間演出デザイン	21名
映像	5名	芸術文化	2名
基礎デザイン	6名	デザイン情報	10名

多摩美術大学 **128名** 現役合格 **99名**

油画・版画	52名	統合デザイン	27名
グラフィックデザイン	13名	情報デザイン	7名
環境デザイン	9名	工芸	7名
演劇舞踊デザイン	9名	生産デザインプロダクト	1名
		生産デザインテキスタイル	3名

東京造形大学 **49名** 現役合格 **37名**

女子美術大学 **23名** 現役合格 **21名**

日大芸術学部 **7名** 現役合格 **7名**

国公立大学 **9名** 現役合格 **8名**
筑波大学 **2名** 千葉大学 **2名** 東京学芸大学 **1名**
長岡造形大学 **1名** 秋田公立美術大学 **2名** 富山大学 **1名**

**その他
大学・専門学校** **14名** 現役合格 **11名**

高校受験

女子美術大学付属高校 **3名**

千葉県立松戸高校 **2名**

付属設備

受験生の皆さんがあなたを志す人として、
より実りある実習が行えるよう、充実した設備を備えています。

付属工房

入試対策としての実技だけでなく、幅広く創造力の源を求める実習の場として、版画・陶芸・彫金の各工房を設備しています。



クロッキー教室 [土曜日] 10:00~12:30

裸婦をモデルに様々なポーズを比較的短時間(1ポーズ20分から5分まで)で描きます。これから絵を描く人、物をつくる人にとって基本的な力となるでしょう。チケット制ですので学院生に限らず自由に参加できます。



図書コーナー

画集や美術書、美術雑誌等の参考図書を多数揃えてありますので積極的に閲覧し自らの糧として下さい。



画材コーナー

学院生が制作に必要な画材を割引価格で販売しています。

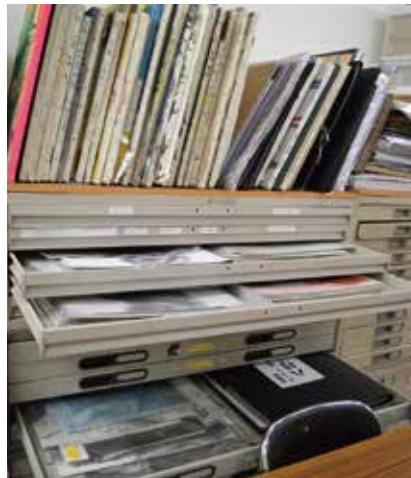


事務受付

入学手続きや証明書発行などはもちろん、健康管理や日常の生活などあらゆる面からサポートします。

参考作品資料コーナー

合格者や在学生の優秀作品を保管しております。希望者は自由に閲覧することができます。



視聴覚授業

授業の中にビデオ、スライド、パソコン、液晶プロジェクターなどを採り入れ多角的な指導を行っています。



ロッカー、パネル・カルトン棚

個人の画材を保管するためのロッカーを無料で貸し出しています。またパネルやカルトン、キャンバスも各アトリエに配置された棚に保管できます。



モチーフ室・石膏室

首像から全身像までのいろいろな石膏像をはじめ、実習に必要な多種多様なモチーフを取り揃えています。



生徒支援

ふなばし美術学院は、一人一人がじっくり、
そして安心して受験に取り組めるよう、様々な制度で応援します。

通学定期・学割

本学院の本課程入学生は、通学定期・学割を利用することができます。また、入試の際も遠隔地への交通費が割引になります。

※附帯課程は授業時間数の都合上、利用対象外となります。

また、本課程入学の場合も入学月によっては割引の対象とならない場合があります。

特待生制度

本学院には、成績優秀で情熱にあふれ、かつ経済的に困難な受験生を対象に、充実した指導・環境のもとで一年間授業料の心配なく学べる特待生制度（授業料全額免除）と、授業料の半額～一部が免除される準特待生制度があります。

応募資格

前期 — 芸大・美大をめざす高校卒業者で平成30年4月～翌年3月まで1年間当学院指定部科に就学できる方

後期 — 芸大・美大をめざす高校卒業者で平成30年9月～翌年3月まで半年間当学院指定部科に就学できる方

申込み方法

本学院所定の申し込み用紙に必要事項を記入し提出してください。
郵送・電話による申込も受け付けます。

試験日

前期募集	A - 平成30年3月21日 B - 平成30年4月7日 学科特待：平成30年4月7日	申込みは 2日前まで
後期募集	— 平成30年8月下旬	

●試験内容 — 作品審査及び面接試験（学科特待は筆記のみ英・国。）
※上記は予定です。詳細は別紙「特待生募集要項」を参照して下さい。

遠隔地特待生制度

千葉県・東京都を除く他県在住の皆さんのが本学への入学を希望される場合、学費の一部を減免する制度です。また、東京都内・千葉県内でも通学に長時間を要する本課程入学希望者には、通学定期券購入に加え、交通費の一部を学費から減免いたします。

授業料分納制度

1年間の授業料を年2回に分けて納入できますが、年3回またはそれ以上の回数で分納をご希望の場合は学院までお申し出ください。個別に面談の上、原則として年度内での納入を条件に、延納・分納の手続きを行います。

学生生徒災害傷害保険

本学院生が安心して生活できるよう、学内外での万が一の事故などに備え、学生生徒災害傷害保険に加入しています。

（対象：途中入学者を除く本課程学生）

国の教育ローン

入学金、授業料、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学中に必要となる資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」があります。本学院の本課程に入学・在学する学生の保護者の方は、この制度を利用することができます。

【ご融資額】 学生・生徒1人あたり350万円以内

【利率】 年1.76%（平成29年11月10日現在）

※母子父子家庭または世帯年収（所得）200万円（122万円）以内の方は年1.36%
※（公財）教育資金融資保証基金による保証をご利用いただく場合は、別途保証料が必要です。

※ 利率は金融情勢によって変動しますので、お借入金利（固定）は、記載されている利率とは異なる場合があります。

【ご返済期間】 15年以内

※母子父子家庭・交通遺児家庭または世帯年収（所得）200万円（122万円）以内の方は18年以内。

【お使いみち】 入学金、授業料、教科書代、アパートの敷金・家賃など

※今後1年間に必要となる費用が融資の対象となります。

【ご返済方法】 每月元利金等払（毎月の返済額が一定）もしくは、

元金据置払（学院卒業までの期間、当初返済額が利息分のみ）
※ボーナス時増額返済も可能です。

【保証】 （公財）教育資金融資保証基金または連帯保証人による保証です。

詳しくは、教育ローンコールセンター（TEL.0570-008656 ハローカール）までお問い合わせ下さい。

※上記の番号がご利用いただけない場合TEL.03-5321-8656までお問い合わせ下さい。入学許可証・在学証明書等、必要書類は入学申込書を提出していただきました後、本学院事務受付にて発行いたしますのでご連絡下さい。

宿泊費用補助制度

ふだん本学には通えない通信教育課程の学生や、地方・遠隔地の皆さんのが本学各期講習会等に参加する場合、学生会館をはじめ本学所定の施設を利用するにあたって宿泊費用の一部を講習会学費から減免する制度を設けました。

宿泊施設

本学院では全国から集まる入学希望者や講習会受講者が利用しやすい宿泊施設をご紹介しています。近隣の学生会館をはじめ、ウィークリー（マンスリー）マンションやビジネスホテル等、なるべく費用が安く女性でも安全な施設をご紹介させていただきます。ご希望の方は本学院事務までご相談下さい。尚、ご予約はお早めにお願いします。



保護者・教職員の皆さんへ

好きなことに熱中して自信をつけることが、成長する上で最も大切だと考えています。
ひとつのハードルを越えれば必ず次に繋がっていくでしょう。

美術を学ぶための進路（進学）

私は絵を描くのが好き、モノづくりに興味がある、将来デザイナーになりたい、など美術にまつわる夢や希望を持っている人はたくさんいると思います。しかしその夢を実現するためには、その夢に見合った学習が必要になります。多くの学生は小学校～高校の美術の授業で美術の楽しさ・すばらしさに触れたことと思いますが、それだけで専門的な知識や技術を身につけることは困難です。ですから高校卒業後に、より専門的な環境に進学する必要があるのです。では、美術を学ぶための進路（進学）にはどのようなものがあるのでしょうか？

① 美術大学

美術を学ぶためのあらゆる専門学科が備えられた大学。それぞれの専門分野に関してもっともハイレベルな教育が受けられる環境で、希望すれば大学院・留学など、さらに上級の学習環境に進学することも可能です。反面、入学時にある程度の専門知識・基礎技能を要求されるので、入試の実技レベルは非常に高く、入試に備えて専門的な技術・技能・知識を学び、準備する必要があります。

② 美術系学科のある大学

一般総合大学の中に美術系学科（美術系コース）を設置している大学。美術大学ほどの専門性はありませんが、いろいろな分野を広く学ぶことができるというメリットがあります。入試実技も比較的基本的な内容が多いので、興味があればすぐに進学に結びつきやすいという特徴もあります。

③ 教育系美術

国公立大学や私立大学の教育学部に設置された美術系学科をこう呼んでいます。将来美術科教員を目指す人のために美術の広範囲な分野に加え、教員として必要な知識・教養を学ぶことのできる環境です。また、なかには美術大学に匹敵する専門性を備えた大学もあります。入試では実技・学科試験の広範囲に偏りのない力を要求されますので、準備しなければならない科目・項目が多いのが特徴ですが、美術系のなかでは学科の得意な人が力を発揮できる分野です。

④ 専門学校

短期間（2～3年）で特定の技術・技能を集中的に身につけることができるので、実社会にすぐに出て活躍するチャンスがあるのが特徴です。将来に目指す職業が明確で、それに必要な技術を身につけたいのであればメリットが高いですが、学習できる範囲や時間も限定されるので、いろいろなことを広範囲に学びたいと考える人にはマッチしないことがあります。入試は面接や調査書の審査が中心ですが、桑沢デザイン専門学校のように、美術大学に匹敵する人気のある学校には、ハイレベルな実技試験が課されます。

このように、美術を学ぶにはいくつかの環境があります。当学院では学生との面接や、卒業生を招いての説明会・オリエンテーション等で、最適な進路選択ができるよう各科でサポートをしています。

美術系の進路と就職について

美大に進学して勉強しようという動機には、大きくふたつの考え方があるでしょう。ひとつは自分の将来目標が明確で、その目標に向かって進学する専攻も絞り込んでゆく。例えば「将来カーデザイナーになりたいので工業デザインの勉強をしよう！」といったように直接的な選択です。もうひとつは、美術は大好き・モノづくりにとても興味があるけれど、それが将来の職業とは直接結びついでイメージできないので、まずは今興味のあることを勉強したい！という間接的な考え方です。

しかしながら、美術系の進路とは、いなくなれば視覚的なモノを扱う分野すべてが対象になりますから、その動機に見合った進路選択をどのようにしたらよいのか迷うところです。そこで、現在美大生が卒業後どのような進路を選択しているかを知ることが、遡って美術大学の専攻（専門分野）を選択する手助けになるでしょう。

美大生の卒業後の進路（職業）の代表的なふたつの例

I 大学で学んだ専門知識・専門技能を活かした進路

II 大学で学んだ専門分野はそれぞれ違っていても、共通する基礎的な能力・技能を活かすことのできる進路

デザインや建築の分野は比較的 I のような進路選択が多い様です。反対にファインアートの分野（絵画・彫刻・一部工芸など）では、作品づくりや表現活動と職業（収入を得られるという意味で）が直接結びつかないこともありますので、 II のような選択で就職するケースも多くあります。また、ほとんどの美術大学で教職免許と学芸員資格を取得できますので、資格を活かした就職をする場合も多くみられます。

ここでお話しできることは限られてしまいますが、体験講習会や各種説明会の場を通していろいろなご案内をさせていただきますので、ぜひ一度直接お話しできれば幸いです。

出張講習会/入試説明会



芸大・美大を目指す学生や、美術・デザイン・建築などに興味を抱く高校生を対象にふなばし美術学院の指導スタッフが各地の高校等に直接お伺いして、講習会・入試説明会を実施します。入試の最新の情報や将来の展望などを、本学院の所蔵する参考作品やデータを基にわかりやすく指導、解説いたします。芸大・美大進路指導の一助になれば幸いです。

※連絡先：ふなばし美術学院教務課 047-422-6870

環境

本学院は、県内随一の伝統と40年以上の歴史を誇る「確かな実績のある」芸大・美大受験のための研究所です。東京から30分以内という交通の便利な位置にあり、東京芸術大学をはじめとして各美術大学や美術館・博物館等にも近く、優れた芸術作品を身近に感じることができる大変恵まれた環境にあるといえます。また、ディズニーランドや幕張メッセ・ららぽーと・IKEAなど様々な施設があることで、活気に満ちた地域といえましょう。学院までの交通手段も非常に豊富で、JR総武線をはじめ、京葉線・武藏野線・東京メトロ東西線・東葉高速鉄道・東武野田線・京成線・新京成線などの各線が利用できるなど、通学にも大変便利です。



■国立西洋美術館



■東京国立博物館



■江戸東京博物館



■東京芸術大学取手校

徒歩圏に4駅利用可、通学に便利なマルチアクセス環境！！



■武蔵野美術大学



■東京芸術大学上野校



■川村記念美術館



■ふなばし美術学院 宮本第二校舎



■多摩美術大学



■東京造形大学



■女子美術大学



■ふなばし美術学院 宮本第二校舎

ふなばし美術学院 沿革

- 昭和42年10月 ●船橋美術研究所創立(船橋市市場に創設)
- 昭和44年10月 ●ふなばし美術学院と改称(千葉県知事の認可を得る)
●「油絵科」「デザイン・工芸科」「基礎科」を設置
●学科講座を開設
- 昭和63年5月 ●現在の宮本校舎に移転(市場校舎は一般部のみの授業)
●美術図書室開設
- 平成5年10月 ●現在の宮本第2校舎を落成
- 平成7年4月 ●新たに「日本画科」を設置し、認可を得る
- 平成8年12月 ●市場校舎から宮本校舎に全面移転
- 平成11年4月 ●参考作品室開設
- 平成12年4月 ●「映像科」「建築科」を設置
- 平成15年4月 ●「先端芸術表現科」を設置
- 平成21年9月 ●「通信教育課程」を設置
- 平成23年4月 ●基礎科「中学生コース」を設置
- 平成28年10月 ●こども絵画教室を設置
- 平成29年10月 ●創立50周年



●JR総武線船橋駅南口・東武野田線船橋駅・京成線船橋駅より徒歩15分 ●京成線大神宮下駅より徒歩5分

—— www.funabi.ac.jp から最新の情報を発信中 !! ——

ふなばし美術学院のアドレスは、
大学等と同じ信頼の「.ac.jp」ドメインです。
各種イベントや講習会情報、パンフレット等に掲載しきれない
参考作品など情報満載でお届けします。
また、体験入学もウェブサイトからお申し込みいただけます。
各種検索ページからは「ふなばし美術」でクリック !!



個人情報の保護について

本学院では、申込書に記入いただいた個人情報は厳重に管理・取扱いを行い、下記の利用目的以外では一切使用致しません。また、取扱いを外部に委託することも致しません。

【利用目的】

授業に関わる情報や通知などの連絡、送付・本人と特定されない方式での統計資料の作成。

指導スタッフ

- 創立者 鈴木 善雄 東京芸術大学絵画科油画専攻大学院修了
- 学院長 鈴木 太一郎 武蔵野美術大学映像学科卒
- 総合主任 佐藤 孝志 東京芸術大学絵画科油画専攻大学院修了

油絵科 OIL PAINTING

- 佐藤 孝志 東京芸術大学絵画科油画専攻大学院修了
子安 謙志 東京芸術大学絵画科油画専攻大学院修了
大関 千里 東京芸術大学絵画科油画専攻大学院修了
山口 智一 東京芸術大学絵画科油画専攻大学院修了
石橋 勝昂 東京芸術大学絵画科油画専攻卒
岩田 駿一 東京芸術大学絵画科版画専攻大学院在学

日本画科 JAPANESE PAINTING

- 船越 大祐 東京芸術大学絵画科日本画専攻卒
渡邊 志保 東京芸術大学絵画科日本画専攻大学院在学
田中 実保 東京芸術大学絵画科日本画専攻卒
小泉 皓 東京芸術大学絵画科日本画専攻卒
山口 彩 東京芸術大学絵画科日本画専攻在学

デザイン・工芸科 DESIGN & CRAFT

- 平田 剛 東京芸術大学デザイン科卒
田中 健 東京芸術大学工芸科卒デザイン科大学院修了
室 菜津子 東京芸術大学デザイン科卒
天明 里奈 東京芸術大学工芸科大学院修了
大塚 浩二郎 東京芸術大学デザイン科大学院在学
土屋 純 東京芸術大学デザイン科大学院在学
藤田 匠 東京芸術大学デザイン科在学
松本 真奈 東京芸術大学デザイン科在学
常田 遥 東京芸術大学デザイン科在学
小林 周平 多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒

土日受験部 絵画科 PAINTING

- 子安 謙志 東京芸術大学絵画科油画専攻大学院修了
石神 雄介 東京芸術大学絵画科油画専攻卒

土日受験部 デザイン科 DESIGN

- 皆川 莉恵 東京芸術大学デザイン科在学
池上 里佳子 東京芸術大学建築科大学院在学

土日受験部 先端芸術・映像科 MEDIA ARTS & IMAGE

- 小林 千夏 東京芸術大学先端芸術表現科美術教育大学院在学
菊地 良太 東京芸術大学先端芸術表現科大学院修了
富澤 大輔 東京芸術大学先端芸術表現科在学
小城 開人 東京芸術大学先端芸術表現科在学
富永 怡那 武蔵野美術大学映像学科在学

土日受験部 建築科 ARCHITECTURE

- 市原 昇 東京芸術大学建築科大学院在学
神谷 陽平 東京芸術大学建築科大学院修了
木下 直哉 東京芸術大学建築科在学
高須賀 琳 東京芸術大学建築科在学
仁科 緑 東京芸術大学建築科在学

基礎科 BASIC SECTION (中学生コース含む)

- 松本 次郎 多摩美術大学絵画学科油画専攻大学院修了
田中 宏枝 東京芸術大学工芸科卒
石神 雄介 東京芸術大学絵画科油画専攻卒
大塚 美樹 東京芸術大学工芸科卒
中谷 奈緒子 東京芸術大学デザイン科大学院在学
皆川 莉恵 東京芸術大学デザイン科在学
小久江 峻 東京芸術大学絵画科油画専攻在学
池上 里佳子 東京芸術大学建築科大学院在学
木村 洋佑 東京芸術大学絵画科日本画専攻在学
蛭田 真衣 東京芸術大学デザイン科在学

学科 LECTURE

- 稻本 竜太郎 千葉大学総合大学院博士課程修了
羽鳥 杏子 東京大学大学院総合文化研究科博士課程在学



www.funabi.ac.jp

油画科 日本画科 デザイン・工芸科 土日受験部
先端藝術・映像科 建築科 基礎科 中学コース 学科

〒273-0003 千葉県船橋市宮本 2-3-1 [E-mail] info@funabi.ac.jp [Tel] 047-422-6870 [Fax] 047-425-0499